

第6回 高等学校中途退学追跡調査結果報告書

令和8年3月

埼玉県教育委員会

目次

第1章 中途退学の現状	1
1 本県公立高等学校及び全国公立高等学校の中途退学の状況	1
2 本県公立高等学校中途退学者の課程別中途退学率の推移	1
3 本県公立高等学校の学年別中途退学者数	2
4 本県公立高等学校1年生の中途退学率及び中途退学者数の推移	2
5 本県公立高等学校における理由別の割合（令和元年度結果）	3
第2章 高等学校中途退学追跡調査について	4
第3章 調査結果について	6
■ 基本データ	
(1) 性別	6
(2) 高校を退学したときの学年	7
(3) 高校を退学した月	8
(4) 中途退学した高校の課程	9
(5) 中途退学した高校の学科	10
■ 現在の状況	
(6) 現在の状況【複数回答可】	11
(7) 現在の状況は、高校を退学したときの希望どおりの状況か	12
(8) 高校を退学したことについて現在どのように考えているか	13
(9) （現在学校に所属していない人へ）将来学校で学びたいと思うか	14
■ 高校入学前・入学後	
(10) 中学校時代の欠席有無	15
(11) 中学時代の卒業後の進路に対する考え	16
(12) 中学校の進路指導に望むこと【複数回答可】	17
(13) 高校に進学した理由【複数回答可】	18
(14) 入学する高校を決めるときに役立ったこと【複数回答可】	19
(15) 入学した高校は、志望した高校だったか	20
(16) 高校に入学したときの印象や状況【複数回答可】	21

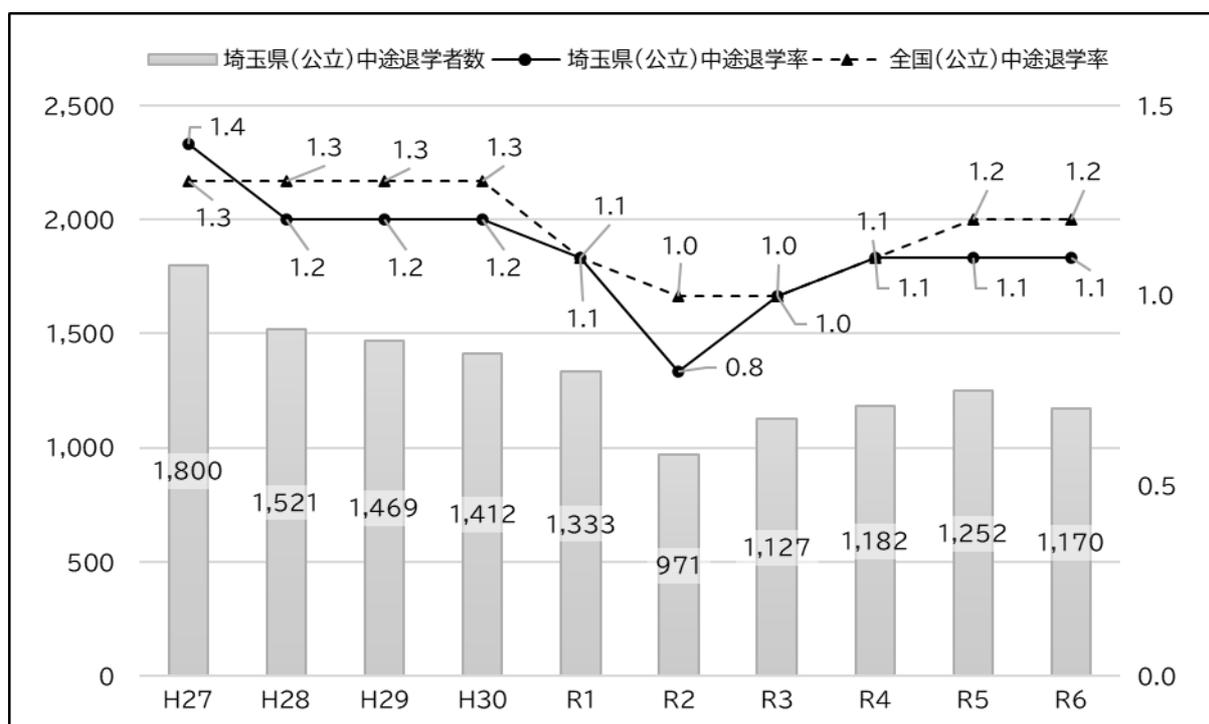
(17) 高校生活の中で楽しかったこと【複数回答可】	22
(18) 高校の授業の内容について	23
(19) 在学していた高校での心を打ち明けて相談できる人【複数回答可】	24
(20) 在学していた高校の校内で居心地のよかった場所【複数回答可】	25
(21) 高校の校則やきまりについて	26
■ 高校をやめるにあたって	
(22) 在学中に高校を退学することについてどのように考えていたか	27
(23) 高校を退学することに決めた一番の理由	28
(24) 二番目の理由を、次の中から一つだけあげてください	29
(25) 高校を退学することについて誰かに相談したか	30
(26) (25で「した」と回答した人へ) 誰と相談したか【複数回答可】	31
(27) 高校退学時点で、その後のことについてどのように考えていたか	33
(28) 高校退学前は、高校卒業の資格は必要だと考えたか。	33
■ 高校を退学してから	
(29) 高校退学後は、高校卒業の資格は必要だと考えたか	34
(30) 高校生活を振り返って、高校に望むこと【複数回答可】	35
(31) 中途退学を考えたときに、学校に支援してほしいと思ったこと	36
(32) 高校退学後、自分の進路について誰かに相談したか	37
(33) (32で「した」と回答した人へ) 誰と相談したか【複数回答可】	38
(34) (32で「しなかった」と回答した人へ) 相談しなかった理由	39
(35) 現在の自分にとって必要なこと【複数回答可】	40
第4章 調査結果から	40
■ 分析<中途退学後の現在の状況と各質問項目との関係について>	
■ 分析<相談状況について>	
■ 分析<高校生活について>	
■ 分析<授業・学習支援について>	
■ 分析<中学校時代不登校傾向の者と各質問項目との関係について>	

第1章 中途退学の現状

1 本県公立高等学校及び全国公立高等学校の中途退学の状況

本県公立高等学校の中途退学率（百分率）は、調査開始（昭和57年度）以降平成5年度まで全国平均値とほぼ同水準であったが、平成6年度以降上昇し、全国平均値を上回って推移してきた。平成28年度では全国平均値を下回り、その後は概ね全国平均値と同水準または下回る値となっている。

なお、令和6年度の中途退学率について、全国公立高等学校では1.2%であるのに対し、埼玉県公立高等学校では1.1%である。



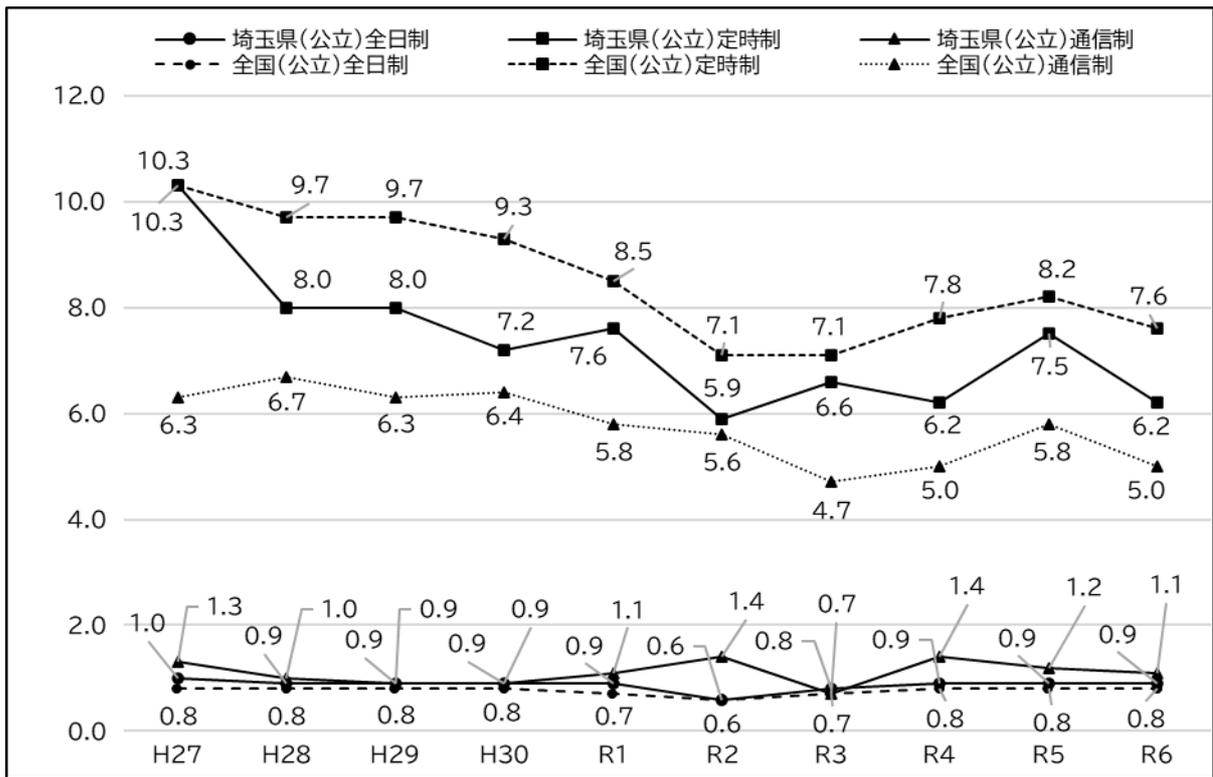
埼玉県（公立）中途退学者数および、
埼玉県（公立）中途退学率と全国（公立）中途退学率の比較

2 本県公立高等学校中途退学者の課程別中途退学率の推移

全日制高等学校の中途退学率について、直近5年間では全国平均値に対し、0ポイントから0.1ポイント高い値で推移している。

定時制高等学校の中途退学率について、直近5年間では全国平均値に対し、1.4ポイントから0.5ポイント低い値で推移している。

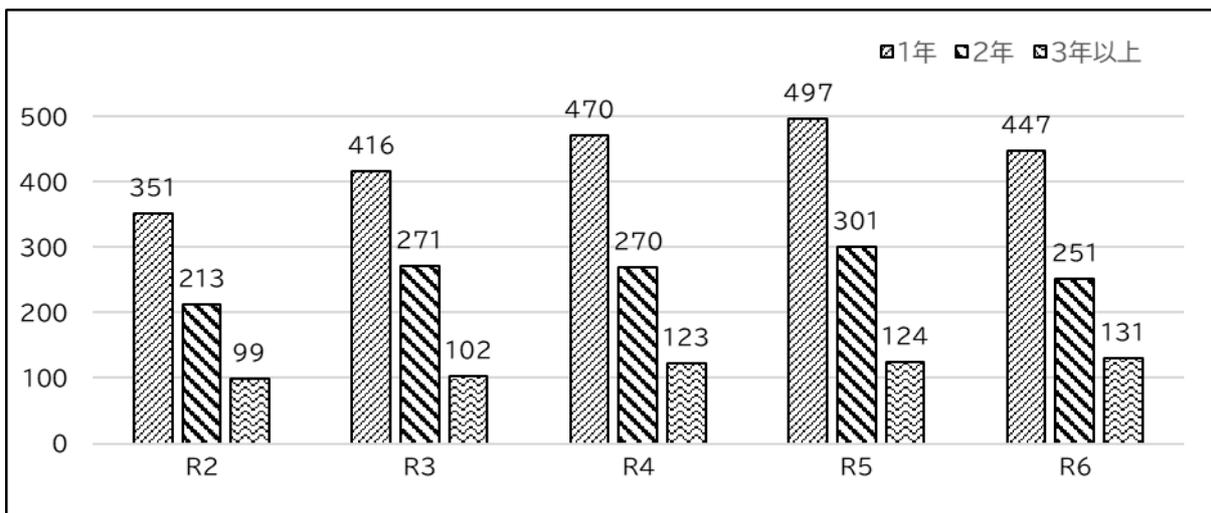
通信制高等学校の中途退学率について、直近5年間では全国平均値に対し、4.6ポイントから3.6ポイント低い値で推移している。



課程別（全日制・定時制・通信制）での
埼玉県（公立）中途退学者率と全国（公立）中途退学者率の比較

3 本県公立高等学校の学年別中途退学者数

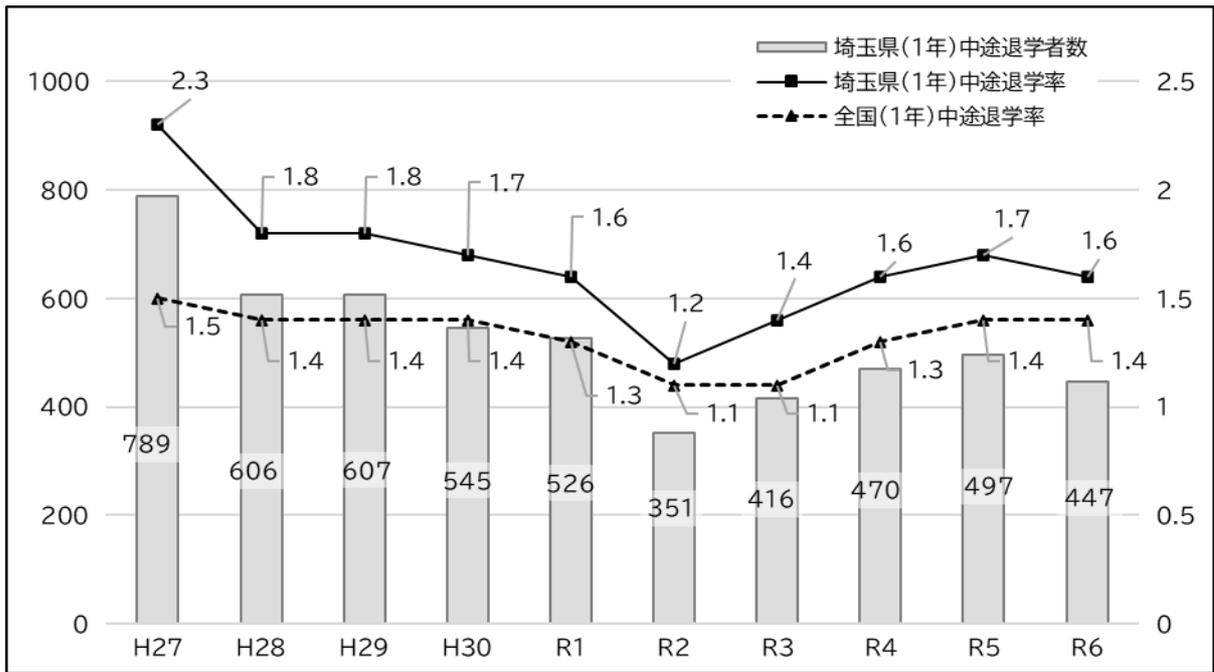
学年別の中途退学者数について、高等学校1年の中途退学者数は他学年の中途退学者数よりも多く、他学年に比べて高い割合となっている。



埼玉県（公立）（全日制・定時制高校）における学年別中途退学者数の推移

4 本県公立高等学校1年生の中途退学率及び中途退学者数の推移

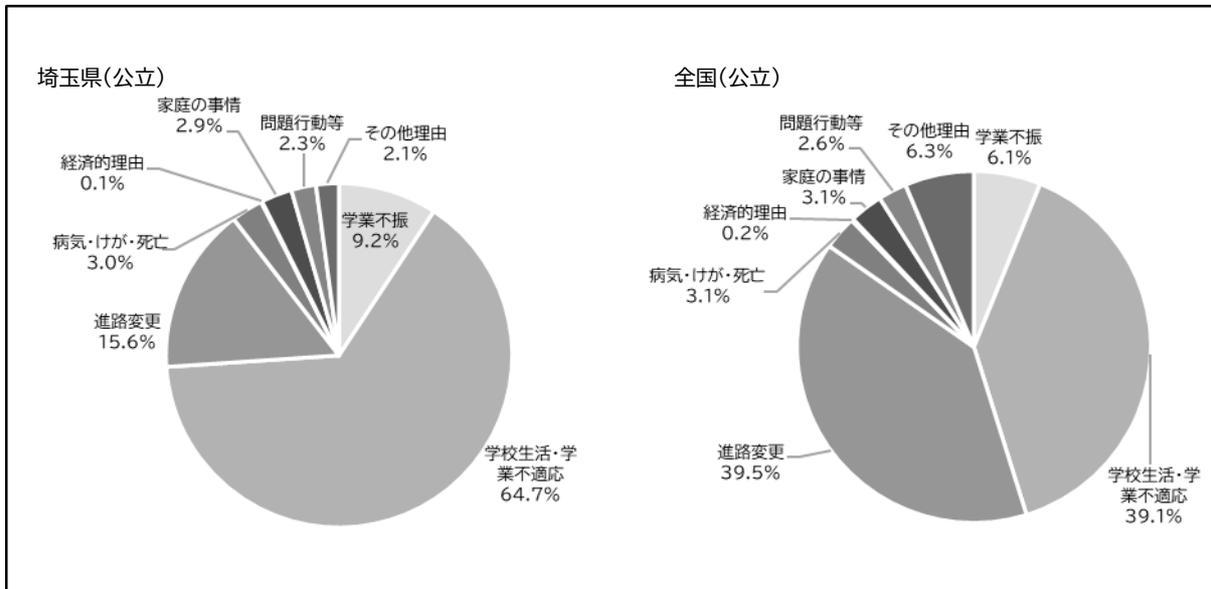
高校1年平成26年度の本県公立高等学校1年生の中途退学率は2.6%で、平成18年度以降低下している。しかし、全国平均値と比較すると、高い状況が続いている。



埼玉県（公立）高等学校における1学年中途退学者数・中途退学率の推移

5 本県公立高等学校における理由別の割合（令和元年度結果）

「学業不振」は9.2%、「学校生活・学業不適応」は64.7%、「進路変更」は15.6%となっている。「学校生活・学業不適応」の割合が突出して高く、全国と比較しても高い状況にある。



第2章 高等学校中途退学追跡調査について

1 趣旨

県立高等学校を中途退学した者に対して、中途退学に至った理由やその後の状況等について調査し、今後の指導の在り方や施策展開の参考とする。

※過去に平成12年度、17年度、22年度、27年度、令和2年度と5年に1回調査を実施し、今回は調査開始から6回目の調査となる。

2 調査対象

令和6年度中に県立高等学校を中途退学した者を対象とする。

対象者 1,170人（令和6年度県立高等学校中途退学者）

送付者 全日制 896人

定時制 231人

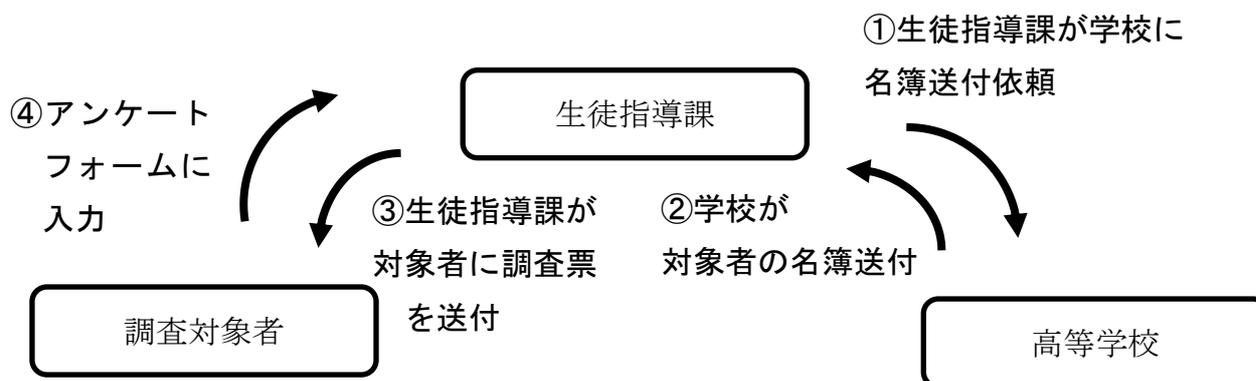
通信制 37人

計 1,164人

住所不明により返還 55人

3 調査方法

令和7年9月に対象者宛てアンケート調査票を送付し、令和7年9月～10月にかけて回収した。



4 有効回答率

回答者数 132人

有効回答数 132

有効回答率 11.3% (有効回答数[132]÷送付数[1,164])

(参考 令和2年度 11.9%)

5 過去の調査との比較

中途退学者に対する追跡調査は5年に1回行っており、今回は調査開始から6回目の調査となる。

調査年度	平成 12 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 27 年度	令和 2 年度	令和 7 年度
実施時期	電話： 9月～10月 郵送： 10月～11月 面接： 11月～1月	電話： 10月～11月 郵送： 12月	郵送： 10月～11月	郵送： 10月～1月	郵送： 11月～12月	郵送： 9月～10月
対象	中途退学後3年以内の者 (平成9～11年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (平成16年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (平成21年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (平成26年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (令和元年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (令和6年度中途退学者)
回答数	電話： 全日制 828 人 定時制 195 人 合計 1,023 人 各年度 2 人程度	電話： 全日制 684 人 定時制 98 人 合計 782 人 全日制 6 人程度 定時制 3 人程度	郵送：351 人 (うち無回答 2 人) 回答率 14.0%	郵送： 全日制 199 人 定時制 58 人 通信制 3 人 不明 6 人 合計 266 人 回答率 14.4%	アンケートフォーム： 全日制 115 人 定時制 23 人 通信制 2 人 合計 140 人 回答率 11.9%	アンケートフォーム： 全日制 109 人 定時制 19 人 通信制 4 人 合計 132 人 回答率 11.3%
	郵送：166 人	郵送：105 人				
質問数	35 問	50 問	31 問	34 問	34 問	35 問

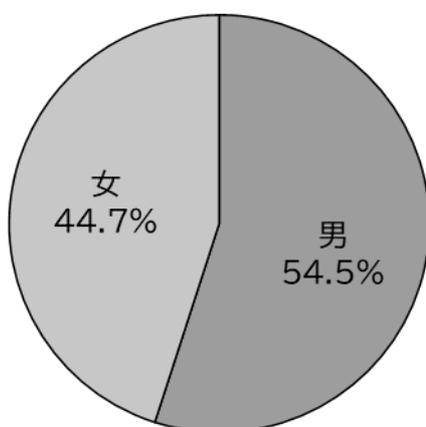
第3章 調査結果について

調査結果

■ 基本データ

(1) 性別

		男	女	答えたくない	合計
R7	人数(人)	72	59	1	132
	割合(%)	54.5%	44.7%	0.8%	100%



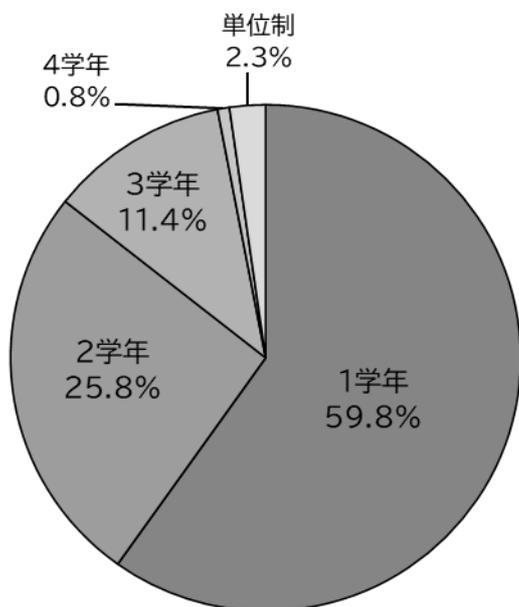
- ・回答数に占める男女比は
男子が 54.5%
女子が 44.7%
となっている。
- ・男子の回答数が女子を上回っている。

〈参考〉過去の調査データ

		男	女	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	575	448	0	1023
	割合(%)	56.2%	43.8%	0%	100%
H17	人数(人)	396	386	0	782
	割合(%)	50.6%	49.4%	0%	100%
H22	人数(人)	181	168	2	351
	割合(%)	51.6%	47.9%	0.6%	100%
H27	人数(人)	138	120	8	266
	割合(%)	51.9%	45.1%	3.0%	100%
R2	人数(人)	65	75	0	140
	割合(%)	46.4%	53.6%	0.0%	100%

(2) 高校を退学したときの学年

		1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	79	34	15	1	3		132
	割合(%)	59.8%	25.8%	11.4%	0.8%	2.3%		100%



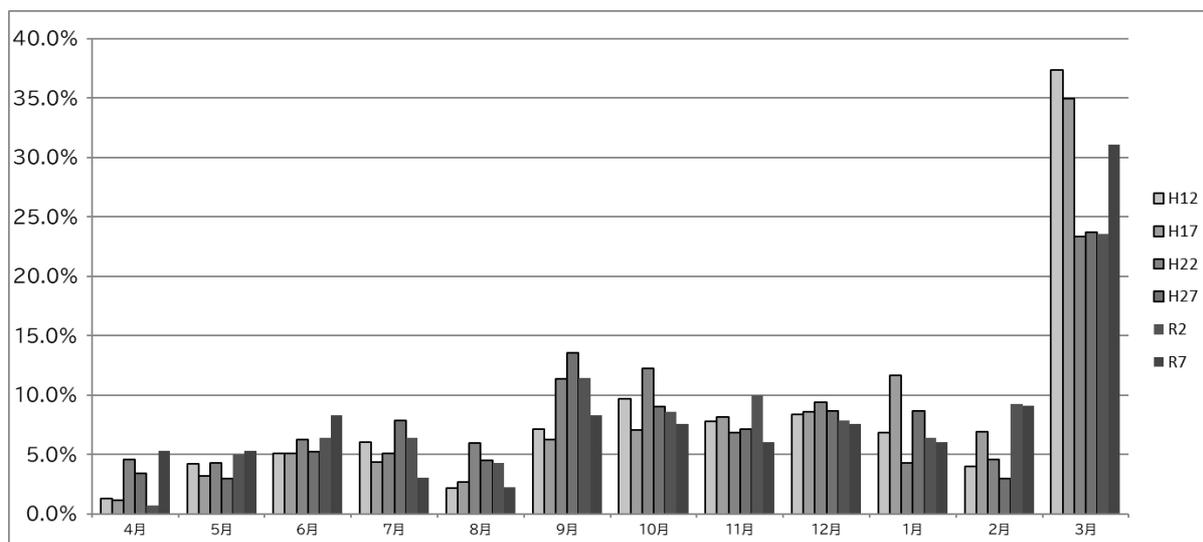
・ 今回の調査の回答者のうち、1年生が59.8%と6割近くを占めている。

〈参考〉過去の調査データ

		1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	499	391	129	4	0	0	1023
	割合(%)	48.8%	38.2%	12.6%	0.4%	0.0%	0.0%	100%
H17	人数(人)	395	291	78	5	13	0	782
	割合(%)	50.5%	37.2%	10.0%	0.6%	1.7%	0.0%	100%
H22	人数(人)	217	102	24	1	5	2	351
	割合(%)	61.8%	29.1%	6.8%	0.3%	1.4%	0.6%	100%
H27	人数(人)	167	69	22	2	2	4	266
	割合(%)	62.8%	25.9%	8.3%	0.8%	0.8%	1.5%	100%
R2	人数(人)	60	49	24	1	6		140
	割合(%)	42.9%	35.0%	17.1%	0.7%	4.3%		100%

(3) 高校を退学した月

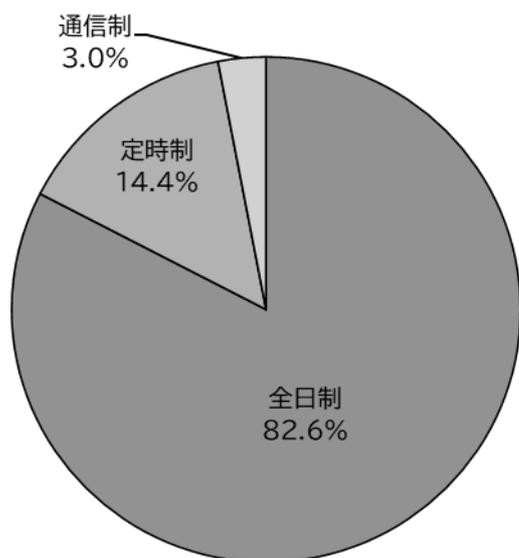
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	13	43	52	62	22	73	99	80	86	70	41	382	0	1023
	割合(%)	1.3%	4.2%	5.1%	6.1%	2.2%	7.1%	9.7%	7.8%	8.4%	6.8%	4.0%	37.3%	0.0%	100%
H17	人数(人)	9	25	40	34	21	49	55	64	67	91	54	273	0	782
	割合(%)	1.2%	3.2%	5.1%	4.3%	2.7%	6.3%	7.0%	8.2%	8.6%	11.6%	6.9%	34.9%	0.0%	100%
H22	人数(人)	16	15	22	18	21	40	43	24	33	15	16	82	6	351
	割合(%)	4.6%	4.3%	6.3%	5.1%	6.0%	11.4%	12.3%	6.8%	9.4%	4.3%	4.6%	23.4%	1.7%	100%
H27	人数(人)	9	8	14	21	12	36	24	19	23	23	8	63	6	266
	割合(%)	3.4%	3.0%	5.3%	7.9%	4.5%	13.5%	9.0%	7.1%	8.6%	8.6%	3.0%	23.7%	2.3%	100%
R2	人数(人)	1	7	9	9	6	16	12	14	11	9	13	33		140
	割合(%)	0.7%	5.0%	6.4%	6.4%	4.3%	11.4%	8.6%	10.0%	7.9%	6.4%	9.3%	23.6%		100%
R7	人数(人)	7	7	11	4	3	11	10	8	10	8	12	41		132
	割合(%)	5.3%	5.3%	8.3%	3.0%	2.3%	8.3%	7.6%	6.1%	7.6%	6.1%	9.1%	31.1%		100%



- ・ 中途退学者全体に占める4月～8月（入学～夏休み）までの割合は24.2%で、全体の1/4程度である
- ・ 「3月」に退学する者の割合は31.1%と最も高い。3月末で単位認定されず、原級留置となる生徒が中途退学していると思われる。
- ・ 次いで「2月」に退学する者の割合が9.1%、「6月」「9月」に退学する者の割合が8.3%である。

(4) 中途退学した高校の課程

		全日制	定時制	通信制	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	109	19	4		132
	割合(%)	82.6%	14.4%	3.0%		100%



- ・回答者の 82.6%が全日制の生徒である。
- ・前回調査結果と比較し、定時制の回答率が低い。

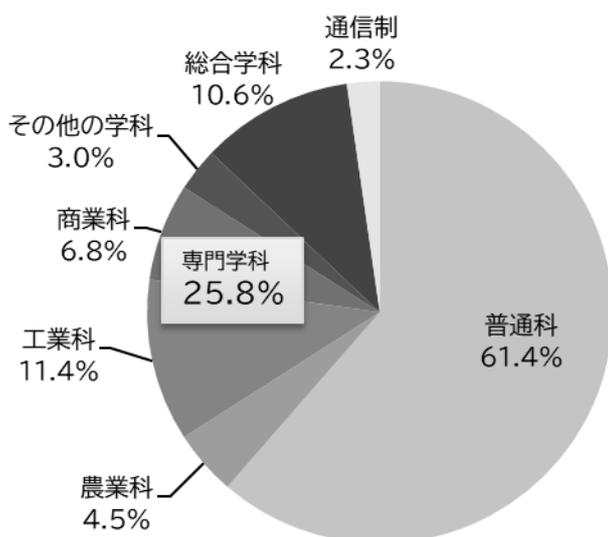
〈参考〉過去の調査データ

		全日制	定時制	通信制	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	828	195		0	1023
	割合(%)	80.9%	19.1%		0.0%	100%
H17	人数(人)	684	98		0	782
	割合(%)	87.5%	12.5%		0.0%	100%
H22	人数(人)	270	72		9	351
	割合(%)	76.9%	20.5%		2.6%	100%
H27	人数(人)	199	58	3	6	266
	割合(%)	74.8%	21.8%	1.1%	2.3%	100%
H2	人数(人)	115	23	2		140
	割合(%)	82.1%	16.4%	1.4%		100%

(5) 中途退学した高校の学科

		普通科	専門学科	総合学科	通信制	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	81	34	14	3		132
	割合(%)	61.4%	25.8%	10.6%	2.3%		100%

		農業科	工業科	商業科	その他の学科	合計
専門学科	人数(人)	6	15	9	4	34
内訳	割合(%)	4.5%	11.4%	6.8%	3.0%	25.8%



- ・ 回答者の学科別内訳は、
普通科 61.4% 専門学科 25.8% 総合学科 10.6% 通信制 2.3%
であり普通科が6割近くを占める。
- ・ 専門学科の内訳は、
農業科 4.5% 工業科 11.4% 商業科 6.8% その他の専門学科 3.0%
であり、工業科の中退率が他の専門学科と比較し高い。

〈参考〉過去の調査データ

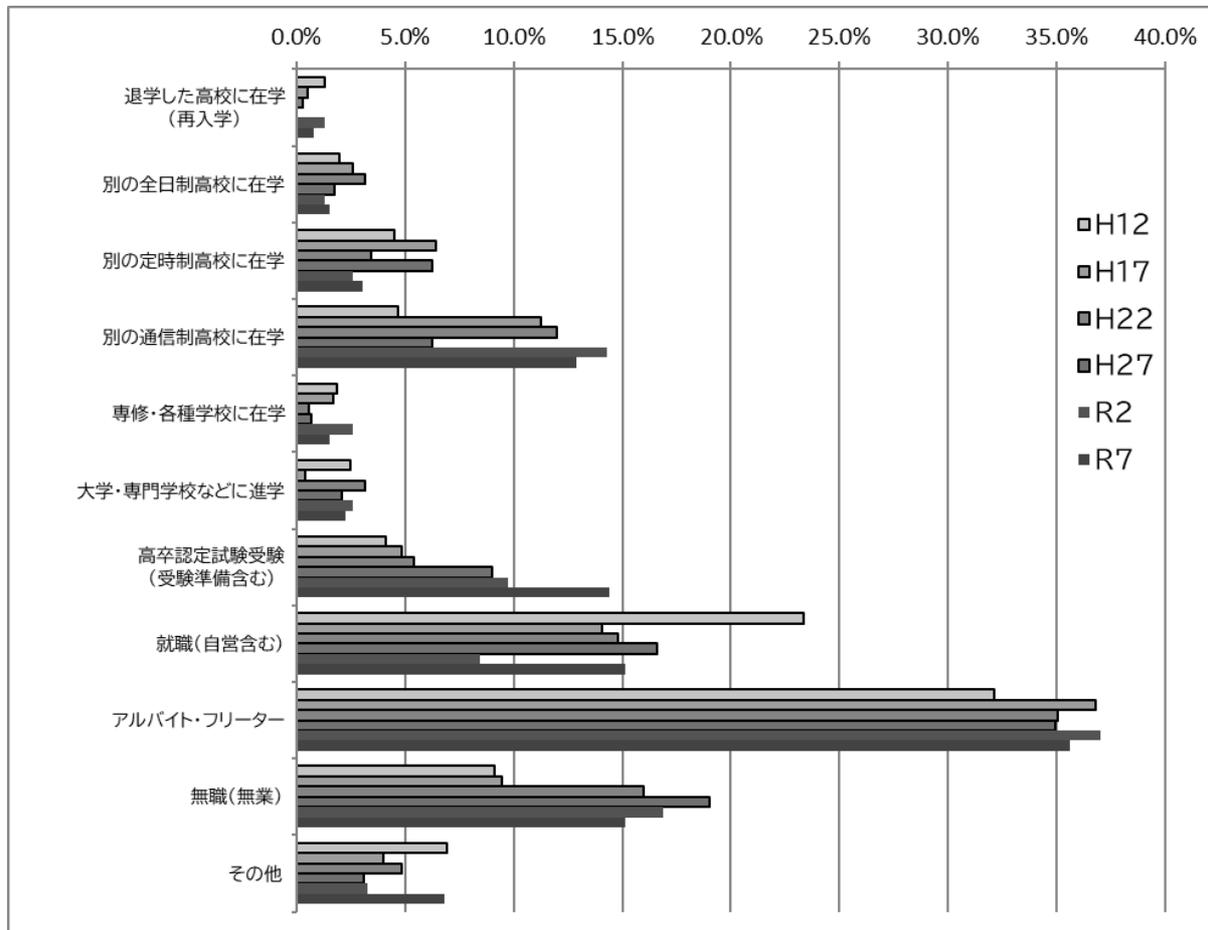
	普通科	専門学科	総合学科	通信制	その他・無回答	合計
H12	773	235	15		0	1023
	75.6%	23.0%	1.5%		0.0%	100%
H17	570	195	17		0	782
	72.9%	24.9%	2.2%		0.0%	100%
H22	224	99	24		4	351
	63.8%	28.2%	6.8%		1.1%	100%
H27	169	71	19	3	4	266
	63.5%	26.7%	7.1%	1.1%	1.5%	100%
R2	90	35	14	1		140
	64.3%	25.0%	10.0%	0.7%		100%

■ 現在の状況

(6) 現在の状況【複数回答可】

		退学した高校に在学(再入学)	別の全日制高校に在学	別の定時制高校に在学	別の通信制高校に在学	専修・各種学校に在学	大学・専門学校などに進学	高卒認定試験受験(受験準備含む)	就職(自営含む)	アルバイト・フリーター	就職(無職)	その他	不明無回答
H12	人数(人)	13	20	46	48	19	25	42	239	329	93	71	78
	割合(%)	1.3%	2.0%	4.5%	4.7%	1.9%	2.4%	4.1%	23.4%	32.2%	9.1%	6.9%	7.6%
H17	人数(人)	4	20	50	88	13	3	38	110	288	74	31	63
	割合(%)	0.5%	2.6%	6.4%	11.3%	1.7%	0.4%	4.9%	14.1%	36.8%	9.5%	4.0%	8.1%
H22	人数(人)	1	11	12	42	2	11	19	52	123	56	17	5
	割合(%)	0.3%	3.1%	3.4%	12.0%	0.6%	3.1%	5.4%	14.8%	35.0%	16.0%	4.8%	1.4%
H27	人数(人)	0	5	18	18	2	6	26	48	101	55	9	1
	割合(%)	0.0%	1.7%	6.2%	6.2%	0.7%	2.1%	9.0%	16.6%	34.9%	19.0%	3.1%	0.3%
R2	人数(人)	2	2	4	22	4	4	15	13	57	26	5	
	割合(%)	1.3%	1.3%	2.6%	14.3%	2.6%	2.6%	9.7%	8.4%	37.0%	16.9%	3.2%	
R7	人数(人)	1	2	4	17	2	3	19	20	47	20	9	
	割合(%)	0.8%	1.5%	3.0%	12.9%	1.5%	2.3%	14.4%	15.2%	35.6%	15.2%	6.8%	

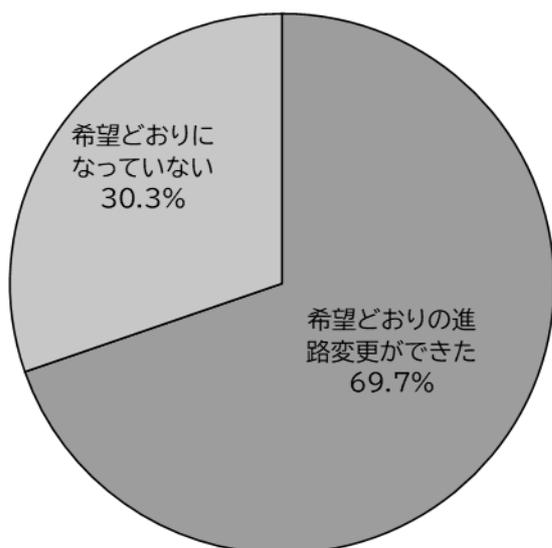
*回答者に占める割合を示す



- ・「アルバイト・フリーター」と回答した割合は32.6%と、最も高い。
- ・過去の調査においても「アルバイト・フリーター」と回答する割合が最も高かった。
- ・その他の回答には、「浪人」「資格勉強中」等があった。

(7) 現在の状況は、高校を退学したときの希望どおりの状況か

		希望どおりの進路変更ができた	希望どおりに なっていない	不明 無回答	合計
R7	人数(人)	92	40		132
	割合(%)	69.7%	30.3%		100%

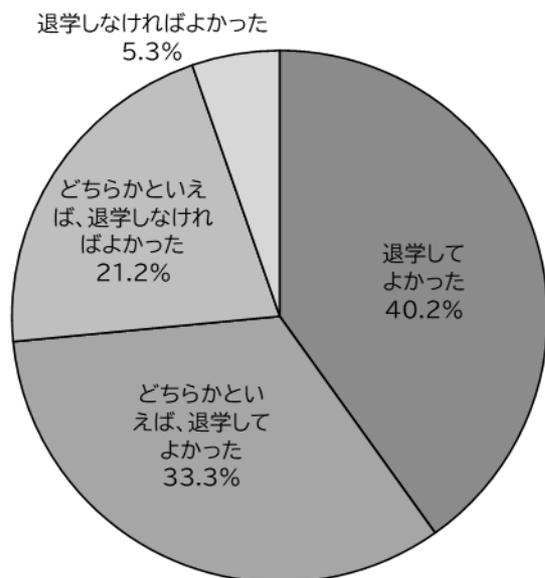


- ・「希望どおりの進路変更ができた」と回答した割合は69.7%であり、7割近くを占める。

		希望どおりの 進路変更ができた	希望どおりに なっていない	よくわからない	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	69	29	67	1	166
	割合(%)	41.6%	17.5%	40.4%	0.6%	100%
H17	人数(人)	38	23	37	7	105
	割合(%)	36.2%	21.9%	35.2%	6.7%	100%
H22	人数(人)	120	86	139	6	351
	割合(%)	34.2%	24.5%	39.6%	1.7%	100%
H27	人数(人)	176	85		5	266
	割合(%)	66.2%	32.0%		1.9%	100%
R2	人数(人)	94	46			140
	割合(%)	67.1%	32.9%			100%

(8) 高校を退学したことについて現在どのように考えているか

		退学してよかった	どちらかといえば、退学してよかった	どちらかといえば、退学しなければよかった	退学しなければよかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	53	44	28	7		132
	割合(%)	40.2%	33.3%	21.2%	5.3%		100%



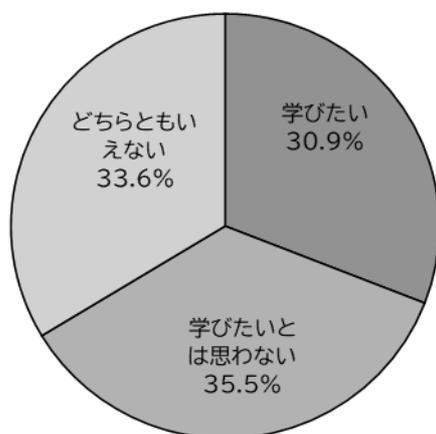
- ・「退学してよかった」、「どちらかといえば、退学してよかった」と回答した割合の合計が73.5%と7割以上を占めている。
- ・今回の調査から、文言標記を修正した。

〈参考〉過去の調査データ

		退学してよかった	どちらかといえば、退学してよかった	どちらかといえば、退学しなければよかった	退学しなければよかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	—	—	—	—	—	—
	割合(%)	34.9%	30.7%	10.2%	19.9%	4.2%	100%
H17	人数(人)	31	30	24	15	5	105
	割合(%)	29.5%	28.6%	22.9%	14.3%	4.8%	100%
H22	人数(人)	101	70	36	70	74	351
	割合(%)	28.8%	19.9%	10.3%	19.9%	21.1%	100%
H27	人数(人)	90	87	43	32	14	266
	割合(%)	33.8%	32.7%	16.2%	12.0%	5.3%	100%
R2	人数(人)	56	49	20	15		140
	割合(%)	40.0%	35.0%	14.3%	10.7%		100%

(9) (現在学校に所属していない人へ) 将来学校で学びたいと思うか

		学びたい	学びたいとは思わない	どちらともいえない	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	34	39	37		110
	割合(%)	30.9%	35.5%	33.6%		100%



- ・「学びたい」と回答した割合は、30.9%であり、3割程度である。
- ・「学びたい」と回答した割合は、前回調査と比較し減少している。

〈参考〉過去の調査データ

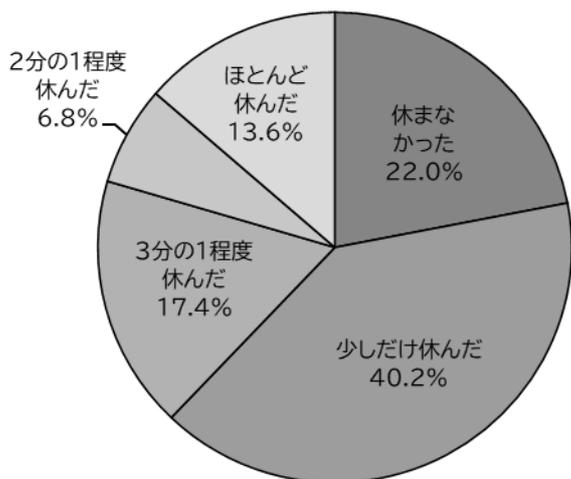
		学びたい	学ぼうとは思わない	どちらともいえない	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	54	40		72	166
	割合(%)	32.5%	24.1%		43.4%	100%
H17	人数(人)	39	41		25	105
	割合(%)	37.1%	39.0%		23.8%	100%
H22	人数(人)	89	93	78	91	351
	割合(%)	25.4%	26.5%	22.2%	25.9%	100%
H27	人数(人)	49	93	67	57	266
	割合(%)	18.4%	35.0%	25.2%	21.4%	100%
R2	人数(人)	37	28	39		104
	割合(%)	35.6%	26.9%	37.5%		100%

■ 高校入学前・入学後

(10) 中学校時代の欠席有無

		休まな かった	少しだけ 休んだ	3分の1程 度休んだ	2分の1程 度休んだ	ほとんど 休んだ	不明 無回答	合計
R7	人数(人)	29	53	23	9	18		132
	割合(%)	22.0%	40.2%	17.4%	6.8%	13.6%		100%

← 37.9% →



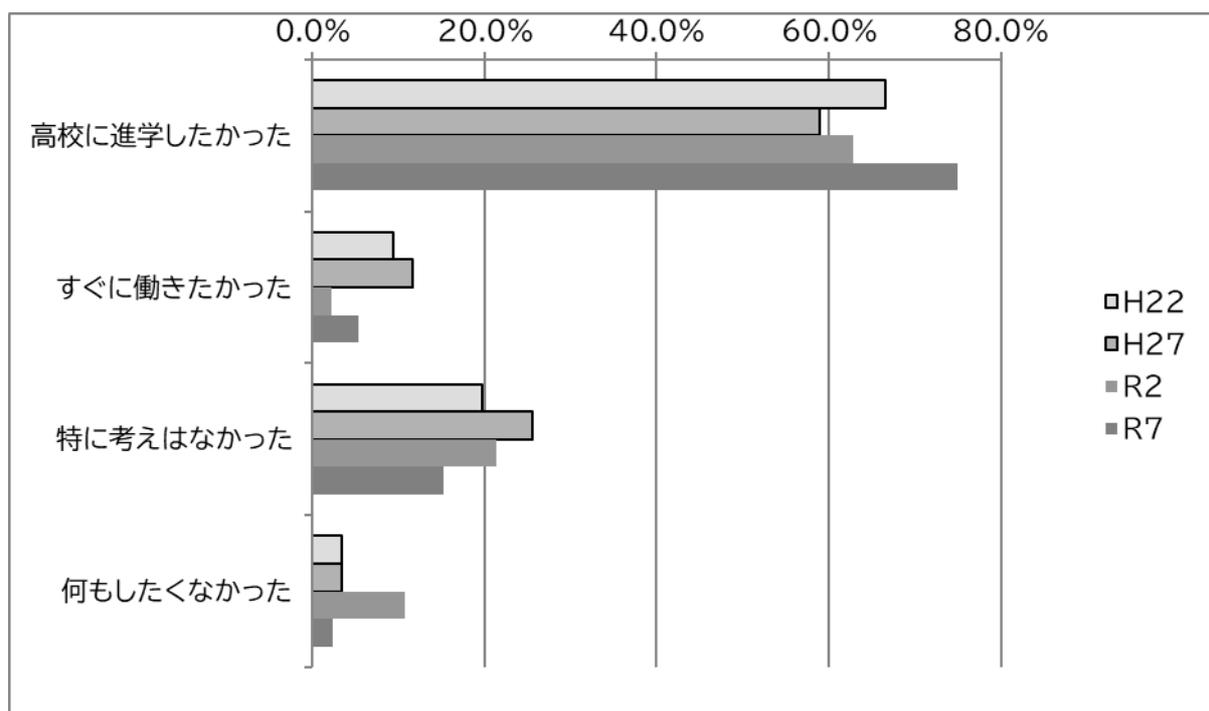
- ・「3分の1程度休んだ」「2分の1程度休んだ」「ほとんど休んだ」と回答した割合は合計 37.9%で4割程度であり、前回調査と同等程度である。

〈参考〉過去の調査データ

		休まな かった	少しだけ休 んだ	3分の1程 度休んだ	2分の1程 度休んだ	ほとんど 休んだ	不明 無回答	合計
H27	人数(人)	64	109	41	18	26	8	266
	割合(%)	24.1%	41.0%	15.4%	6.8%	9.8%	3.0%	100%
R2	人数(人)	35	52	19	16	18		140
	割合(%)	25.0%	37.1%	13.6%	11.4%	12.9%		100%

(11) 中学時代の卒業後の進路に対する考え

		高校に進学したかった	すぐに働きたかった	特に考えはなかった	何もしたくなかった	その他	不明無回答	合計
H22	人数(人)	234	33	69	12	-	3	351
	割合(%)	66.7%	9.4%	19.7%	3.4%		0.9%	100%
H27	人数(人)	157	31	68	9	-	1	266
	割合(%)	59.0%	11.7%	25.6%	3.4%		0.4%	100%
R2	人数(人)	88	3	30	15	4		140
	割合(%)	62.9%	2.1%	21.4%	10.7%	2.9%		100%
R7	人数(人)	100	7	20	3	2		132
	割合(%)	75.0%	5.3%	15.2%	2.3%	2.3%		100%

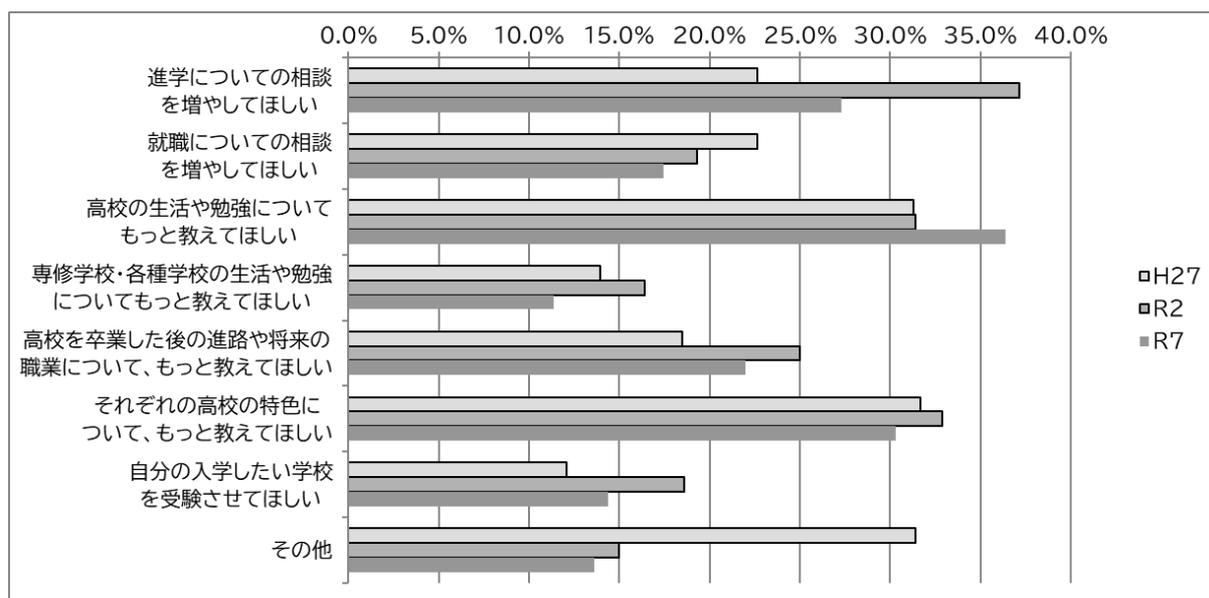


- ・「高校に進学したかった」と回答した割合は75.0%と7割を超える。
- ・「何もしたくなかった」と回答した割合は2.3%である。

(12) 中学校の進路指導に望むこと【複数回答可】

		進学についての相談を増やしてほしい	就職についての相談を増やしてほしい	高校の生活や勉強について詳しく教えてほしい	専修学校・各種学校の生活や勉強について詳しく教えてほしい	高校を卒業した後の進路や将来の職業について詳しく教えてほしい	それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい	自分の入学したい学校を受験させてほしい	その他
H27	人数(人)	60	60	83	37	49	84	32	44
	割合(%)	22.6%	22.6%	31.3%	14.0%	18.5%	31.7%	12.1%	31.4%
R2	人数(人)	52	27	44	23	35	46	26	21
	割合(%)	37.1%	19.3%	31.4%	16.4%	25.0%	32.9%	18.6%	15.0%
R7	人数(人)	36	23	48	15	29	40	19	18
	割合(%)	27.3%	17.4%	36.4%	11.4%	22.0%	30.3%	14.4%	13.6%

*回答者に占める割合を示す



- ・「高校の生活や勉強について、もっと教えてほしい」と回答した割合は36.4%と最も高く、「それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい」と回答した割合は30.3%と2番目に高い。
- ・中学校の進路指導に対する希望として、高校理解を促す指導を望む回答数が多い。

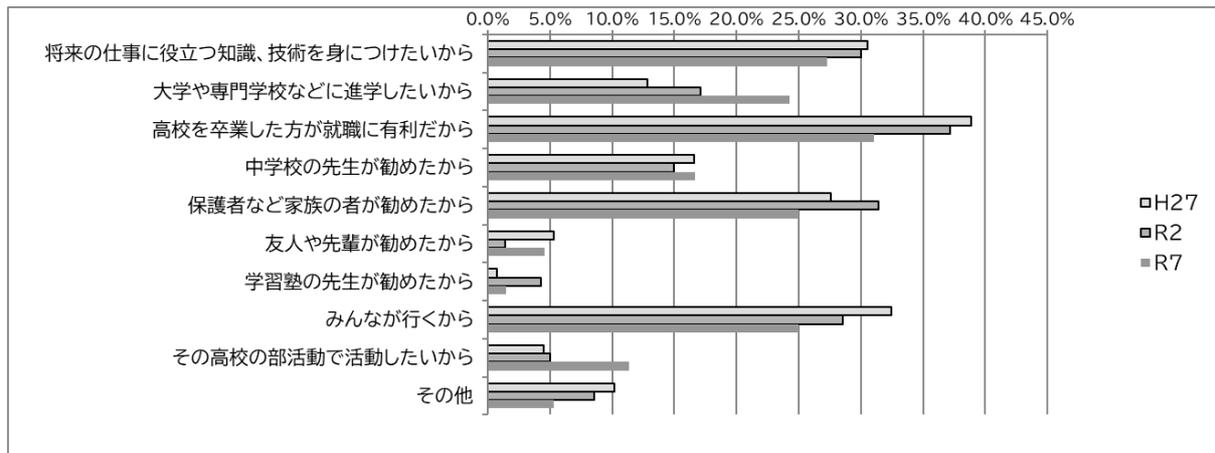
〈参考〉過去の調査データ

		進学についての相談を増やしてほしい	就職についての相談を増やしてほしい	将来の職業について、もっと教えてほしい	高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	専修学校・各種学校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	就職先のことについて、もっと教えてほしい	高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい	自分の入学したい学校を受験させてほしい	その他
H12	人数(人)	32	33	50	49	37	20	36	53	46	31	22
	割合(%)	19.3%	8.1%	12.2%	12.0%	9.0%	4.9%	8.8%	13.0%	11.2%	7.6%	5.4%
H17	人数(人)	30	18	41	44	29	8	28	26	37	15	7
	割合(%)	28.6%	6.4%	14.5%	15.5%	10.2%	2.8%	9.9%	9.2%	13.1%	5.3%	2.5%
H22	人数(人)	83	53	91	91	54	90	118	34	43	31	22
	割合(%)	23.8%	15.2%	26.1%	26.1%	15.5%	25.8%	33.8%	9.7%	12.3%	9.7%	12.3%
H27	人数(人)	60	60	83	83	37	49	84	32	44	32	44
	割合(%)	22.6%	22.6%	31.3%	31.3%	14.0%	18.5%	31.7%	12.1%	16.6%	12.1%	16.6%
R2	人数(人)	52	27	44	44	23	35	46	26	21	26	21
	割合(%)	37.1%	19.3%	31.4%	31.4%	16.4%	25.0%	32.9%	18.6%	15.0%	18.6%	15.0%

(13) 高校に進学した理由【複数回答可】

		将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから	大学や専門学校などに進学したいから	高校を卒業した方が就職に有利だから	中学校の先生が勧めたから	保護者など家族の者が勧めたから	友人や先輩が勧めたから	学習塾の先生が勧めたから	みんなが行くから	その高校の部活動で活動したいから	その他
H27	人数(人)	81	34	103	44	73	14	2	86	12	27
	割合(%)	30.6%	12.8%	38.9%	16.6%	27.5%	5.3%	0.8%	32.5%	4.5%	10.2%
R2	人数(人)	42	24	52	21	44	2	6	40	7	12
	割合(%)	30.0%	17.1%	37.1%	15.0%	31.4%	1.4%	4.3%	28.6%	5.0%	8.6%
R7	人数(人)	36	32	41	22	33	6	2	33	15	7
	割合(%)	27.3%	24.2%	31.1%	16.7%	25.0%	4.5%	1.5%	25.0%	11.4%	5.3%

*回答者に占める割合を示す



- ・「保護者など家族の者が勧めたから」と回答した割合は25.0%と、前回調査と比較し、減少している。
- ・「高校を卒業した方が就職に有利だから」と回答した割合は31.1%であり、前回調査に続き割合が高い傾向にある。
- ・「その他」の回答には、「兄弟が行っていたから」「中学校に通えなかったので高校で学校生活を送りたかった」「家から近い」等があった。

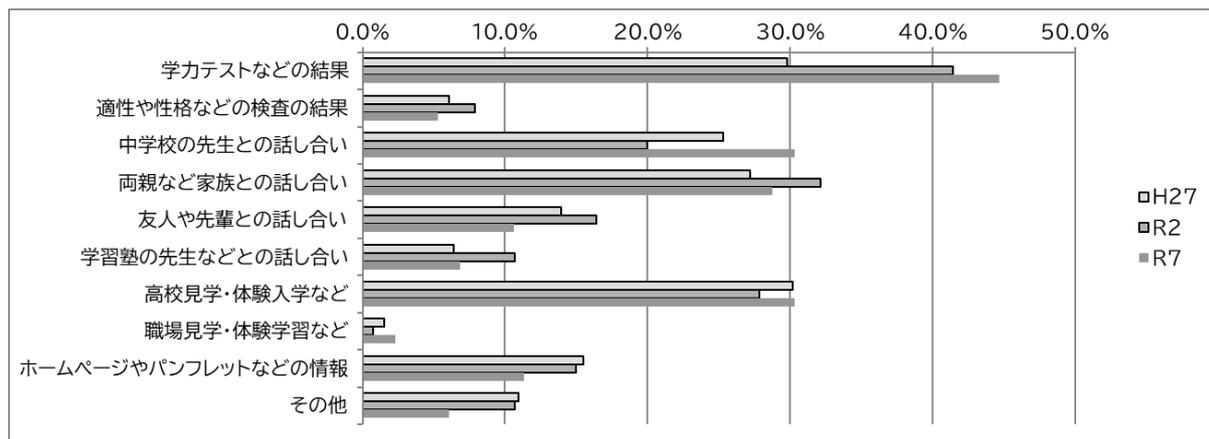
〈参考〉過去の調査データ

		教養を高めたいから	将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから	大学に進学したいから	高校を卒業した方が就職に有利だから	先生が勧めたから	両親など家族の者が勧めたから	友人や先輩が勧めたから	学習塾の先生が勧めたから	みんなが行くから	その高校の部活動で活動したいから	その後項の特色ある学科で勉強したいから	特に理由は無い	その他
H12	人数(人)	14	34	19	55	14	35	7	54	15	10	25	9	
	割合(%)	8.4%	20.5%	11.4%	33.1%	8.4%	21.1%	4.2%	32.5%	9.0%	6.0%	15.1%	5.4%	
H17	人数(人)	5	20	9	40	10	19	9	33	14	8	11	11	
	割合(%)	4.8%	19.0%	8.6%	38.1%	9.5%	18.1%	8.6%	31.4%	13.3%	7.6%	10.5%	10.5%	
H22	人数(人)	109	61	160	34	88	18	7	105	31	23	23	23	
	割合(%)	31.2%	17.5%	45.8%	9.7%	25.2%	5.2%	2.0%	30.1%	8.9%	6.6%	6.6%	6.6%	
H27	人数(人)	81	34	103	44	73	14	2	86	12	27	27	27	
	割合(%)	30.6%	12.8%	38.9%	16.6%	27.5%	5.3%	0.8%	32.5%	4.5%	10.2%	10.2%	10.2%	
R2	人数(人)	42	24	52	21	44	2	6	40	7	12	12	12	
	割合(%)	30.0%	17.1%	37.1%	15.0%	31.4%	1.4%	4.3%	28.6%	5.0%	8.6%	8.6%	8.6%	

(14) 入学する高校を決めるときに役立ったこと【複数回答可】

		学力テストなどの結果	適性や性格などの検査の結果	中学校の先生との話し合い	両親など家族との話し合い	友人や先輩との話し合い	学習塾の先生などとの話し合い	高校見学・体験入学など	職場見学・体験学習など	ホームページやパンフレットなどの情報	その他
H27	人数(人)	79	16	67	72	37	17	80	4	41	29
	割合(%)	29.8%	6.0%	25.3%	27.2%	14.0%	6.4%	30.2%	1.5%	15.5%	10.9%
R2	人数(人)	58	11	28	45	23	15	39	1	21	15
	割合(%)	41.4%	7.9%	20.0%	32.1%	16.4%	10.7%	27.9%	0.7%	15.0%	10.7%
R7	人数(人)	59	7	40	38	14	9	40	3	15	8
	割合(%)	44.7%	5.3%	30.3%	28.8%	10.6%	6.8%	30.3%	2.3%	11.4%	6.1%

*回答者に占める割合を示す



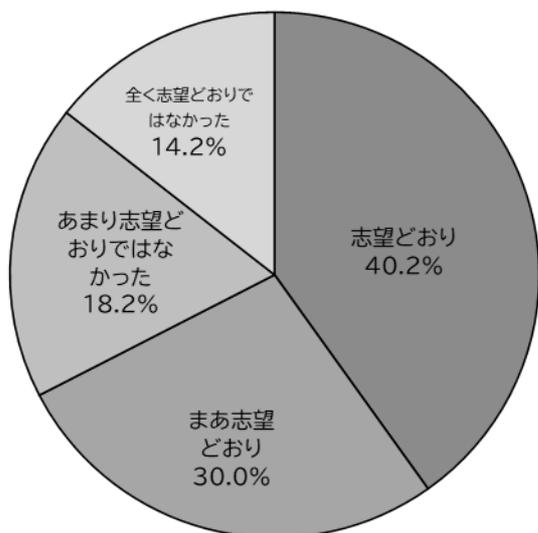
- ・「学力テストなどの結果」と回答した割合は44.7%で最も高く、半数近くを占める。
- ・「中学校の先生との話し合い」と回答した割合は30.3%で、2番目に高い。
- ・「その他」の回答には、「地元なので知っていた」「特にない」等があった。

〈参考〉過去の調査データ

		学力テストなどの結果	性格や行動の検査の結果	適性や興味などの検査の結果	身体や体力の検査の結果	中学校の先生との話し合い	両親など家族との話し合い	友人や先輩との話し合い	高校の先生などとの話し合い	社会人の方などの話し合い	学習塾の先生などとの話し合い	高校見学・体験入学	職場見学・体験学習	ホームページやパンフレットなどの情報	その他
H12	人数(人)	73	3	3	6	32	36	39	4	2	0	27	0	54	26
	割合(%)	44.0%	1.8%	1.8%	3.6%	19.3%	21.7%	23.5%	2.4%	1.2%	0.0%	16.3%	0.0%	15.5%	15.7%
H17	人数(人)	37	6	3	2	23	24	16	4	2	5	28	2	13	13
	割合(%)	35.2%	5.7%	2.9%	1.9%	21.9%	22.9%	15.2%	3.8%	1.9%	4.8%	26.7%	1.9%	12.4%	12.4%
H22	人数(人)	108	19	19	95	100	59	29	115	8	54	29	8	29	29
	割合(%)	30.9%	5.4%	5.4%	27.2%	28.7%	16.9%	8.3%	33.0%	2.3%	15.5%	8.3%	2.3%	15.5%	8.3%
H27	人数(人)	79	16	16	67	72	37	17	80	4	41	29	4	29	29
	割合(%)	29.8%	6.0%	6.0%	25.3%	27.2%	14.0%	6.4%	30.2%	1.5%	15.5%	10.9%	1.5%	15.5%	10.9%
R2	人数(人)	58	11	11	28	45	23	15	39	1	21	15	1	15	15
	割合(%)	41.4%	7.9%	7.9%	20.0%	32.1%	16.4%	10.7%	27.9%	0.7%	15.0%	10.7%	0.7%	15.0%	10.7%

(15) 入学した高校は、志望した高校だったか

		志望どおり	どちらかという と志望どおり	あまり志望 どおりでは なかった	全く志望ど おりではな かった	不明 無回答	合計
R7	人数(人)	53	36	24	19		132
	割合(%)	40.2%	27.3%	18.2%	14.4%		100%



- ・「志望どおり」と回答した割合は40.2%、「どちらかというと志望どおり」と回答した割合は27.3%であり、6割以上が志望どおりと感じている。

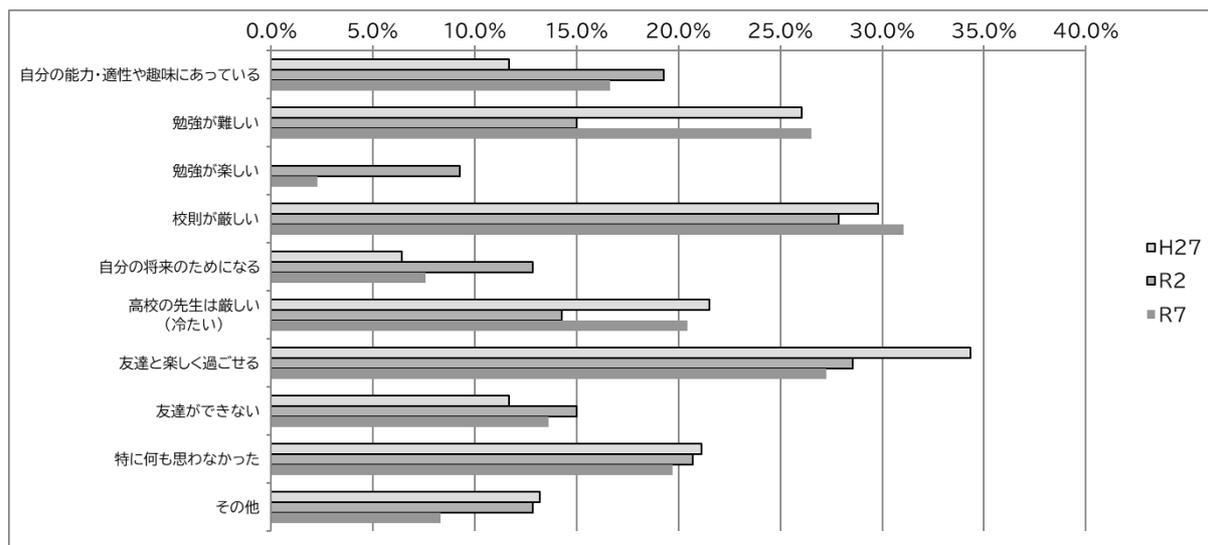
〈参考〉過去の調査データ

		志望どおり	まあ志望ど おり	あまり志望 どおりでは なかった	全く志望ど おりではな かった	不明 無回答	合計
H12	人数(人)	65	54	28	19	0	166
	割合(%)	39.2%	32.5%	16.9%	11.4%	0.0%	100%
H17	人数(人)	45	31	18	11	0	105
	割合(%)	42.9%	29.5%	17.1%	10.5%	0.0%	100%
H22	人数(人)	129	104	62	47	9	351
	割合(%)	36.8%	29.6%	17.7%	13.4%	2.6%	100%
H27	人数(人)	104	76	37	36	13	266
	割合(%)	39.1%	28.6%	13.9%	13.5%	4.9%	100%
R2	人数(人)	55	41	22	22		140
	割合(%)	39.3%	29.3%	15.7%	15.7%		100%

(16) 高校に入学したときの印象や状況【複数回答可】

		自分の能力・適性や趣味にあっている	勉強が難しい	勉強が楽しい	校則が厳しい	自分の将来のためになる	高校の先生は厳しい(冷たい)	友達と楽しく過ごせる	友達ができない	特に何も思わなかった	その他
H27	人数(人)	31	69	-	79	17	57	91	31	56	35
	割合(%)	11.7%	26.0%		29.8%	6.4%	21.5%	34.3%	11.7%	21.1%	13.2%
R2	人数(人)	27	21	13	39	18	20	40	21	29	18
	割合(%)	19.3%	15.0%	9.3%	27.9%	12.9%	14.3%	28.6%	15.0%	20.7%	12.9%
R7	人数(人)	22	35	3	41	10	27	36	18	26	11
	割合(%)	16.7%	26.5%	2.3%	31.1%	7.6%	20.5%	27.3%	13.6%	19.7%	8.3%

*回答者に占める割合を示す



- ・「校則が厳しい」と回答した割合は31.1%と3割を占める。
- ・次いで「友達と楽しく過ごせる」と回答した割合は27.3%、「勉強が難しい」と回答した割合は26.5%である。
- ・「その他」の回答には、「先生が自分に合っていなかった」「思っていたのと違った」等の回答があった。

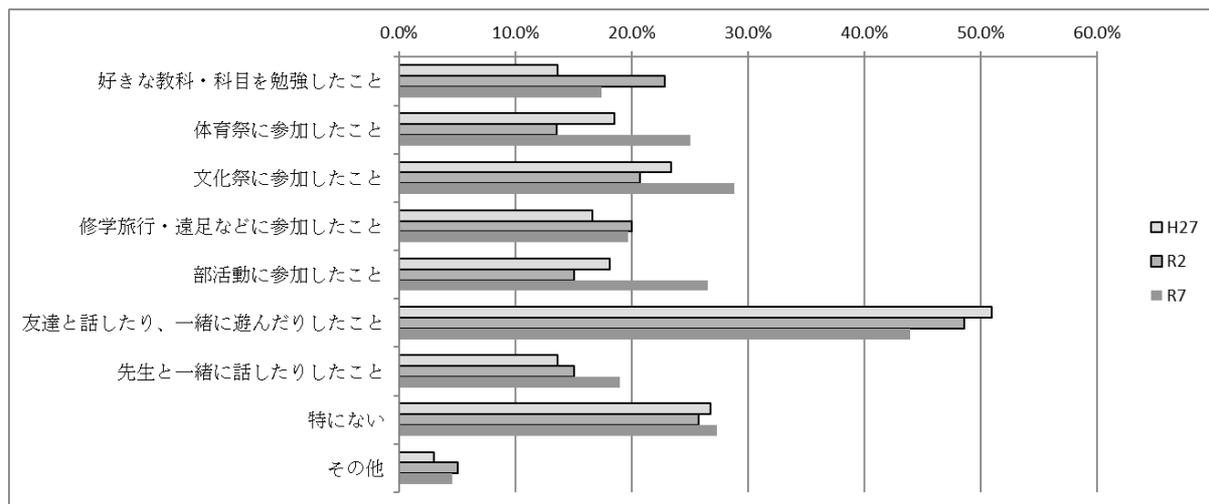
〈参考〉過去の調査データ

		自分の趣味や好みにあっている	勉強が難しい	自分の能力や適性が活かせる	勉強が楽しい	校則が厳しい	自分の将来のためになる	高校の先生は冷たい	その高校に入学できて誇りに思った	みんながあまりにも勉強しないで期待はずれだった	仲間と楽しく過ごせる	部活動が厳しくてつらい	親や先生の期待に沿っている	みんなが受験勉強ばかりしている	友だちができない	特に何も思わなかった	その他
H12	人数(人)	17	47	5	50	14	24	15	13	57	5	5	8	31	25		
	割合(%)	10.2%	28.3%	3.0%	30.1%	8.4%	14.5%	9.0%	7.8%	34.3%	3.0%	3.0%	4.8%	18.7%	15.1%		
H17	人数(人)	8	30	5	39	11	23	10	9	51	2	1	0	10	21		
	割合(%)	7.6%	28.6%	4.8%	37.1%	10.5%	21.9%	9.5%	8.6%	48.6%	1.9%	1.0%	0.0%	9.5%	20.0%		
H22	人数(人)	29	94	116	37	69	31	108	31	108	37	74	42	37	74		
	割合(%)	8.3%	26.9%	33.2%	10.6%	19.8%	8.9%	30.9%	10.6%	21.2%	12.0%	10.6%	21.2%	12.0%	12.0%		
H27	人数(人)	31	69	79	17	57	18	91	18	91	31	56	35	31	56		
	割合(%)	11.7%	26.0%	29.8%	6.4%	21.5%	6.8%	34.3%	11.7%	21.1%	13.2%	11.7%	21.1%	13.2%	13.2%		
R2	人数(人)	27	21	13	39	18	20	40	20	40	21	29	18	21	29		
	割合(%)	19.3%	15.0%	9.3%	27.9%	12.9%	14.3%	28.6%	15.0%	20.7%	12.9%	15.0%	20.7%	12.9%	12.9%		

(17) 高校生活の中で楽しかったこと【複数回答可】

		好きな教科・科目を勉強したこと	体育祭に参加したこと	文化祭に参加したこと	修学旅行・遠足などに参加したこと	部活動に参加したこと	友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと	先生と一緒に話したりしたこと	特にない	その他
H27	人数(人)	36	49	62	44	48	135	36	71	8
	割合(%)	13.6%	18.5%	23.4%	16.6%	18.1%	50.9%	13.6%	26.8%	3.0%
R2	人数(人)	32	19	29	28	21	68	21	36	7
	割合(%)	22.9%	13.6%	20.7%	20.0%	15.0%	48.6%	15.0%	25.7%	5.0%
R7	人数(人)	23	33	38	26	35	58	25	36	6
	割合(%)	17.4%	25.0%	28.8%	19.7%	26.5%	43.9%	18.9%	27.3%	4.5%

*回答者に占める割合を示す



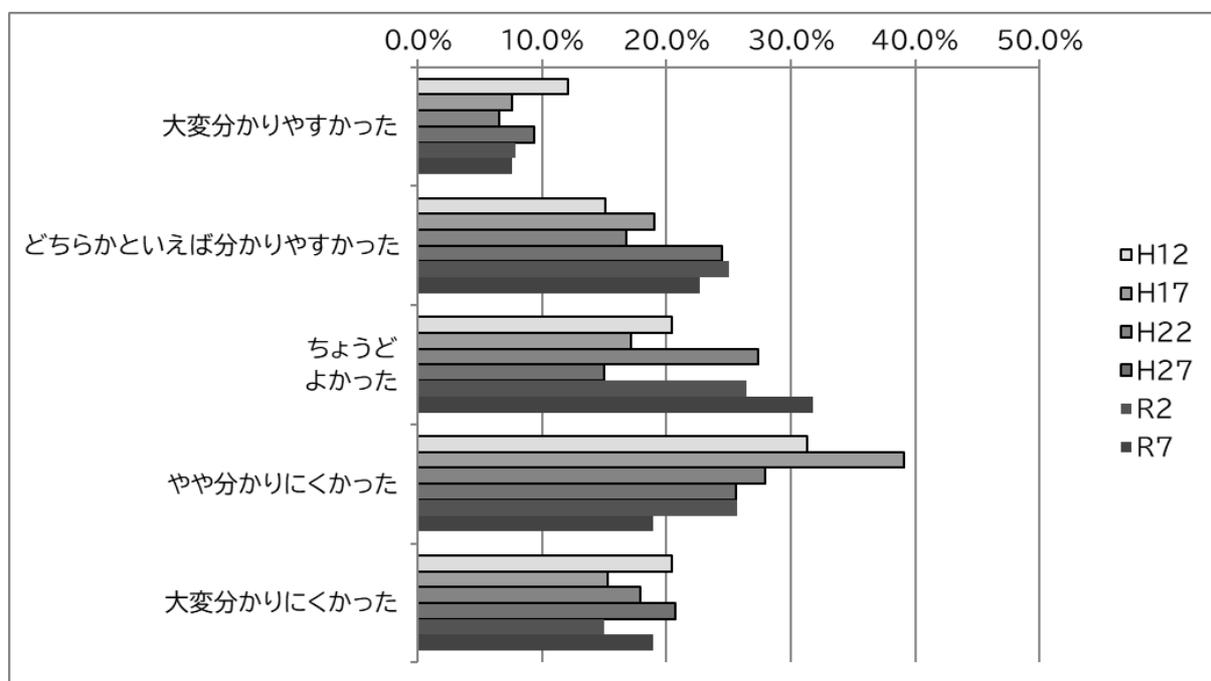
- ・「友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと」と回答した割合は43.9%と4割以上を占める。
- ・「特にない」と回答する割合は27.3%であり例年高い傾向にある。
- ・「その他」の回答には、「学校周辺の環境」「放課後」等の回答があった。

〈参考〉過去の調査データ

		好きな教科・科目を勉強したこと	ホームルーム合宿等に参加したこと	体育祭に参加したこと	文化祭に参加したこと	修学旅行・スキー合宿等に参加したこと	部活動に参加したこと	友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと	先生と一緒に話したりしたこと	特にない	その他
H12	人数(人)	29	14	21	35	30	38	104	25	36	7
	割合(%)	17.5%	8.4%	12.7%	21.1%	18.1%	22.9%	62.7%	15.1%	21.7%	4.2%
H17	人数(人)	22	9	30	46	19	27	77	26	10	7
	割合(%)	21.0%	8.6%	28.6%	43.8%	18.1%	25.7%	73.3%	24.8%	9.5%	6.7%
H22	人数(人)	58		48	79	57	63	201	34	96	9
	割合(%)	16.6%		13.8%	22.6%	16.3%	18.1%	57.6%	9.7%	27.5%	2.6%
H27	人数(人)	36		49	62	44	48	135	36	71	8
	割合(%)	13.6%		18.5%	23.4%	16.6%	18.1%	50.9%	13.6%	26.8%	3.0%
R2	人数(人)	32		19	29	28	21	68	21	36	7
	割合(%)	22.9%		13.6%	20.7%	20.0%	15.0%	48.6%	15.0%	25.7%	5.0%

(18) 高校の授業の内容について

		大変分かりやすかった	どちらかといえば分かりやすかった	ちょうどよかった	やや分かりにくかった	大変分かりにくかった	不明 無回答	合計
H12	人数(人)	20	25	34	52	34	1	166
	割合(%)	12.0%	15.1%	20.5%	31.3%	20.5%	0.6%	100%
H17	人数(人)	8	20	18	41	16	2	105
	割合(%)	7.6%	19.0%	17.1%	39.0%	15.2%	1.9%	100%
H22	人数(人)	23	59	96	98	63	12	351
	割合(%)	6.6%	16.8%	27.4%	27.9%	17.9%	3.4%	100%
H27	人数(人)	25	65	40	68	55	13	266
	割合(%)	9.4%	24.4%	15.0%	25.6%	20.7%	4.9%	100%
R2	人数(人)	11	35	37	36	21		140
	割合(%)	7.9%	25.0%	26.4%	25.7%	15.0%		100%
R7	人数(人)	10	30	42	25	25		132
	割合(%)	7.6%	22.7%	31.8%	18.9%	18.9%		100%

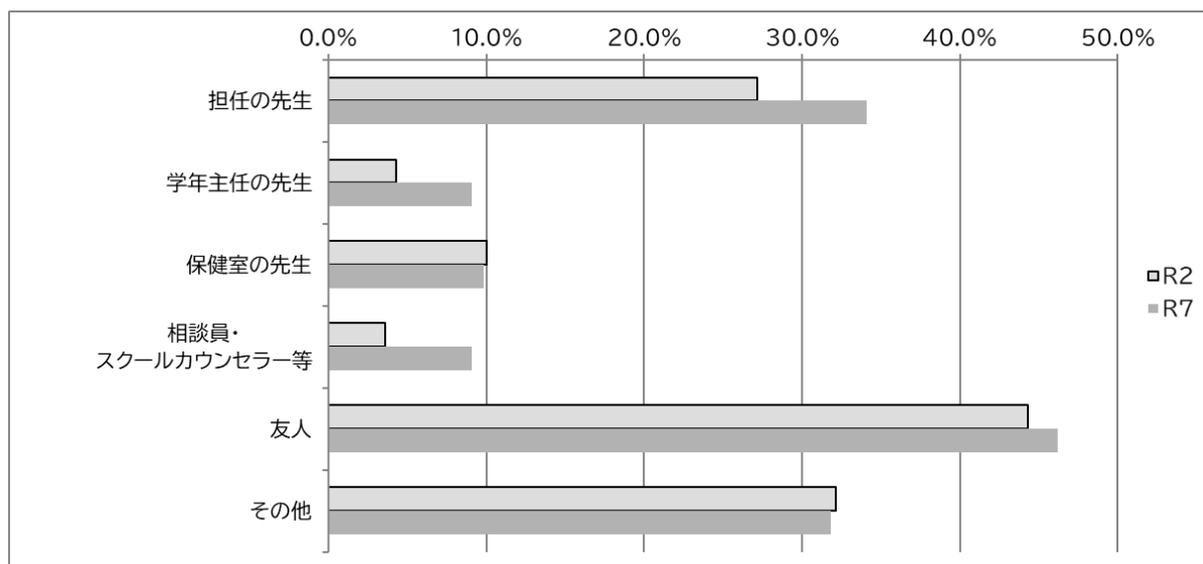


- 「大変分かりにくかった」「やや分かりにくかった」と回答した割合は合計で37.8%あり4割程度である。
- 「どちらかといえばわかりやすかった」「大変わかりやすかった」と回答した割合は合計で30.3%である。

(19) 在学していた高校での心を打ち明けて相談できる人【複数回答可】

		担任の先生	学年主任の先生	保健室の先生	相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	友人	その他
R2	人数(人)	38	6	14	5	62	45
	割合(%)	27.1%	4.3%	10.0%	3.6%	44.3%	32.1%
R7	人数(人)	45	12	13	12	61	42
	割合(%)	34.1%	9.1%	9.8%	9.1%	46.2%	31.8%

*回答者に占める割合を示す



- ・「友人」と回答した割合は46.2%と半数近くを占める。
- ・「その他」の回答には、「いない」「部活の顧問」等の回答があった。

※令和2年調査からの新しい質問

〈参考〉過去の調査データ

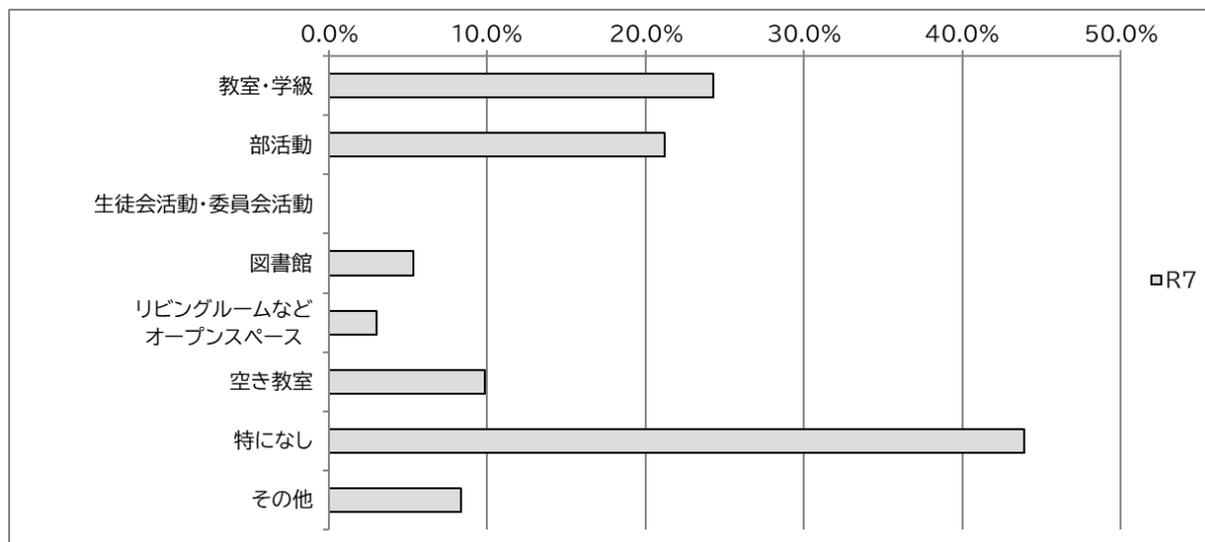
在学していた高校には、心を打ち明けて話せる友人が何人ぐらいいましたか。

		1人	2~3人	4~5人	6人以上	いなかった	不明・無回答	合計
H27	人数(人)	34	72	44	48	62	6	266
	割合(%)	12.8%	27.1%	16.5%	18.0%	23.3%	2.3%	100%

(20) 在学していた高校の校内で居心地のよかった場所【複数回答可】

		教室・学級	部活動	生徒会活動・委員会活動	図書館	リビングルームなどオープンスペース	空き教室	特になし	その他
R7	人数(人)	32	28	0	7	4	13	58	11
	割合(%)	24.2%	21.2%	0.0%	5.3%	3.0%	9.8%	43.9%	8.3%

*回答者に占める割合を示す



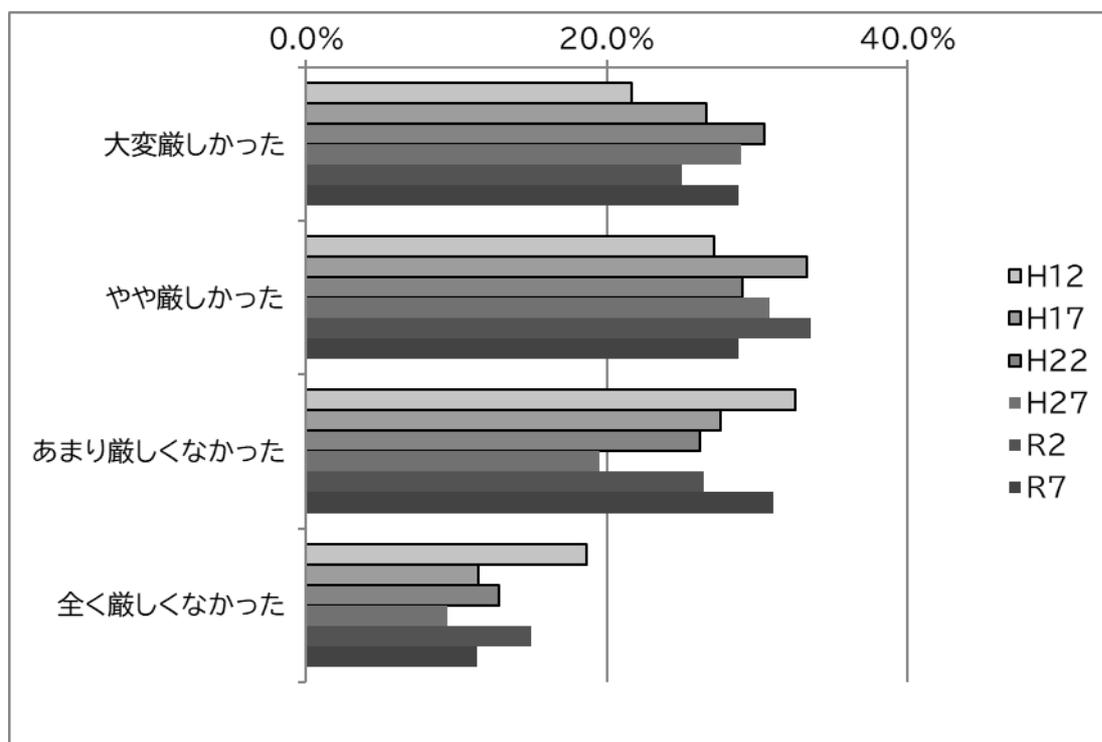
- ・「特になし」と回答した割合は43.9%と最も高く4割程度である。
- ・「その他」の回答には、「保健室」「好きな先生のいる準備室」等の回答があった。

※令和7年調査からの新しい質問

(21) 高校の校則やきまりについて

		大変厳しかった	やや厳しかった	あまり厳しくなかった	全く厳しくなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	36	45	54	31	0	166
	割合(%)	21.7%	27.1%	32.5%	18.7%	0.0%	100%
H17	人数(人)	28	35	29	12	1	105
	割合(%)	26.7%	33.3%	27.6%	11.4%	1.0%	100%
H22	人数(人)	107	102	92	45	5	351
	割合(%)	30.5%	29.1%	26.2%	12.8%	1.4%	100%
H27	人数(人)	77	82	52	25	30	266
	割合(%)	28.9%	30.8%	19.5%	9.4%	11.3%	100%
R2	人数(人)	35	47	37	21		140
	割合(%)	25.0%	33.6%	26.4%	15.0%		100%
R7	人数(人)	38	38	41	15		132
	割合(%)	28.8%	28.8%	31.1%	11.4%		100%

- ・「大変厳しかった」「やや厳しかった」と回答した割合は合計で57.6%であり半数以上が厳しかったと感じている。

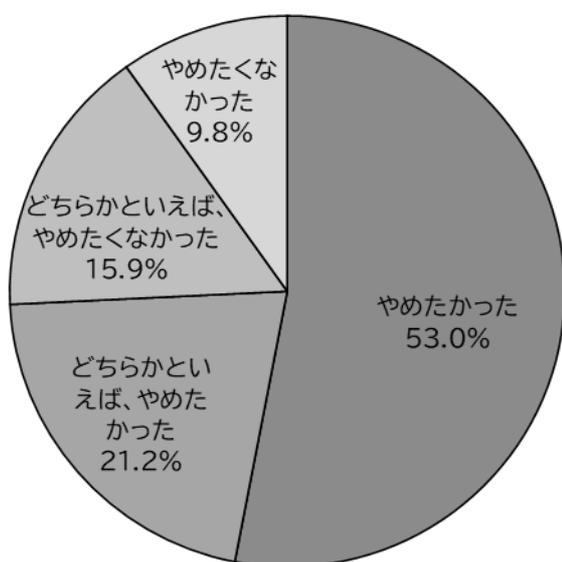


■ 高校を退学するにあたって

(22) 在学中に高校を退学することについてどのように考えていたか

		やめたかった	どちらかといえば、やめたかった	どちらかといえば、やめたくない	やめたくない	合計
R7	人数(人)	70	28	21	13	132
	割合(%)	53.0%	21.2%	15.9%	9.8%	100%

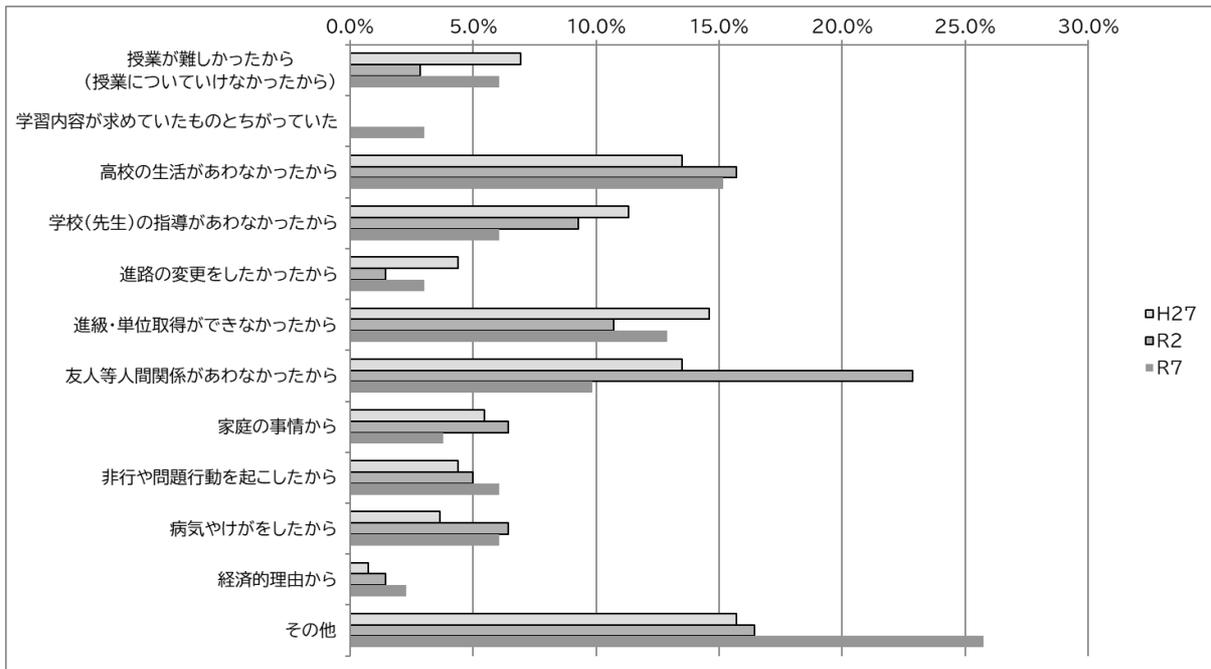
R7	人数(人)	70	28	21	13
上記項目回答者のうち、設問(8)で退学後「退学してよかった」「どちらかといえば、退学してよかった」と回答した人数		58	23	10	6
当該項目回答者に占める割合(%)		82.9%	82.1%	47.6%	46.2%



- 「やめたかった」「まあ、やめたかった」と回答した割合は合計で、74.2%であり、多くの割合を占める。
- 「やめたかった」と在学中考えていた者のうち、中途退学後「やめてよかった」「まあ、やめてよかった」と回答した割合は82.9%である。
- 「やめたくない」と在学中考えていた者のうち、中途退学後、「やめてよかった」「まあ、やめてよかった」と回答した割合は46.2%である。

(23) 高校を退学することに決めた一番の理由

		授業が難しかったから	学習内容が求めているものとはがっていた	高校の生活があわなかったから	学校の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他
H27	人数(人)	19	37	31	12	40	37	15	12	10	2	43	
	割合(%)	6.9%	13.5%	11.3%	4.4%	14.6%	13.5%	5.5%	4.4%	3.6%	0.7%	15.7%	
R2	人数(人)	4	2	22	13	2	15	32	9	7	9	2	23
	割合(%)	2.9%	1.4%	15.7%	9.3%	1.4%	10.7%	22.9%	6.4%	5.0%	6.4%	1.4%	16.4%
R7	人数(人)	8	4	20	8	4	17	13	5	8	8	3	34
	割合(%)	6.1%	3.0%	15.2%	6.1%	3.0%	12.9%	9.8%	3.8%	6.1%	6.1%	2.3%	25.8%



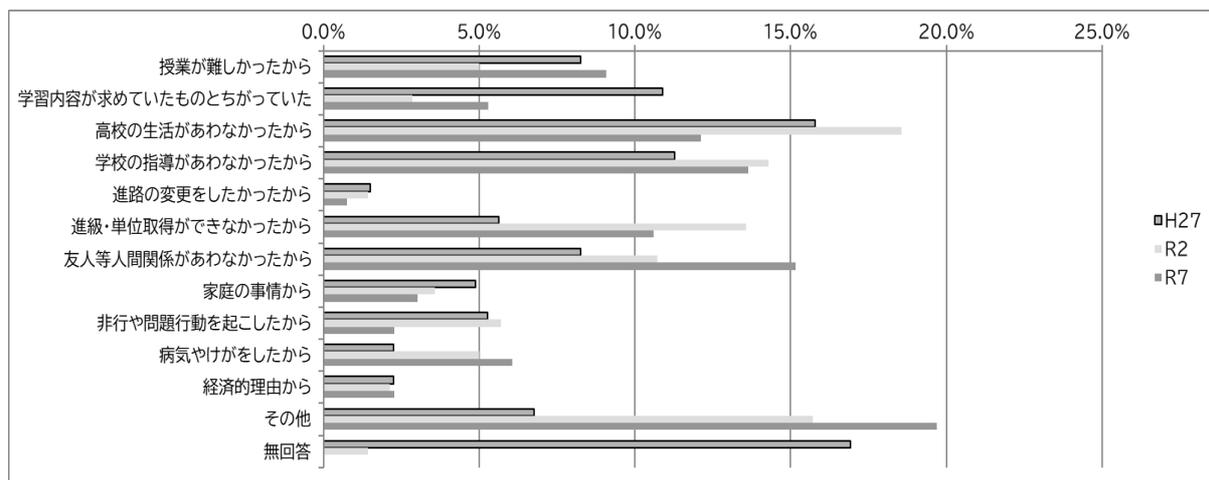
- ・「高校の生活があわなかったから」と回答した割合は15.2%と最も高いが、「友人等人間関係があわなかったから」と回答した割合は前回調査から減少している。
- ・「その他」の回答には「なんとなく」「精神的にきつくなった」等の回答があった。

〈参考〉過去の調査データ

		授業についていけなかったから	学習内容が求めているものとはがっていた	高校の勉強が嫌だったから	高校の生活があわなかったから	先生の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他
H12	人数(人)	16	13	56	28	14	5	7	3	0	38			
	割合(%)	9.6%	7.8%	33.7%	16.9%	3.0%	4.2%	1.8%	0.0%	22.9%				
H17	人数(人)	11	6	20	7	10	14	3	5	6	1	22		
	割合(%)	10.5%	5.7%	19.0%	6.7%	9.5%	13.3%	2.9%	4.8%	5.7%	1.0%	21.0%		
H22	人数(人)	22	14	52	20	13	47	44	16	18	8	6	33	
	割合(%)	7.5%	4.8%	17.7%	6.8%	4.4%	16.0%	15.0%	5.5%	6.1%	2.7%	2.0%	11.3%	
H27	人数(人)	19	16	37	31	12	40	37	15	12	10	2	43	
	割合(%)	6.9%	5.8%	13.5%	11.3%	4.4%	14.6%	13.5%	5.5%	4.4%	3.6%	0.7%	15.7%	
R2	人数(人)	4	2	22	13	2	15	32	9	7	9	2	23	
	割合(%)	2.9%	1.4%	15.7%	9.3%	1.4%	10.7%	22.9%	6.4%	5.0%	6.4%	1.4%	16.4%	

(24) 高校を退学することに決めた二番目の理由

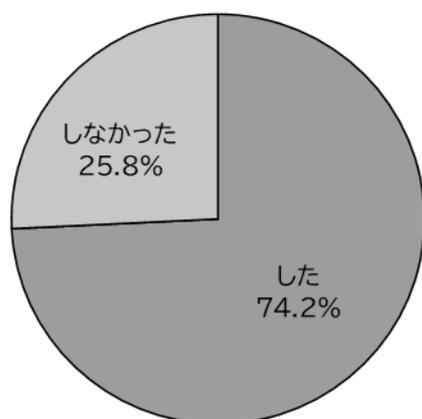
		授業が難しかったから	学習内容が求めているものとはちがっていた	高校の生活があわなかったから	学校の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他	無回答
H27	人数(人)	22	29	42	30	4	15	22	13	14	6	6	18	45
	割合(%)	8.3%	10.9%	15.8%	11.3%	1.5%	5.6%	8.3%	4.9%	5.3%	2.3%	2.3%	6.8%	16.9%
R2	人数(人)	7	4	26	20	2	19	15	5	8	7	3	22	2
	割合(%)	5.0%	2.9%	18.6%	14.3%	1.4%	13.6%	10.7%	3.6%	5.7%	5.0%	2.1%	15.7%	1.4%
R7	人数(人)	12	7	16	18	1	14	20	4	3	8	3	26	0
	割合(%)	9.1%	5.3%	12.1%	13.6%	0.8%	10.6%	15.2%	3.0%	2.3%	6.1%	2.3%	19.7%	0.0%



- ・「学校の指導があわなかったから」と回答した割合は13.6%と、一番目の理由と比べ増加傾向にある。
- ・「その他」の回答では、「勉強したくなかった」「資格の勉強をしたかった」等があった。

(25) 高校を退学することについて誰かに相談したか

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	98	34		132
	割合(%)	74.2%	25.8%		100%



- ・「した」と回答した割合は74.2%であり7割を超える。
- ・「しなかった」と回答した割合は25.8%である。

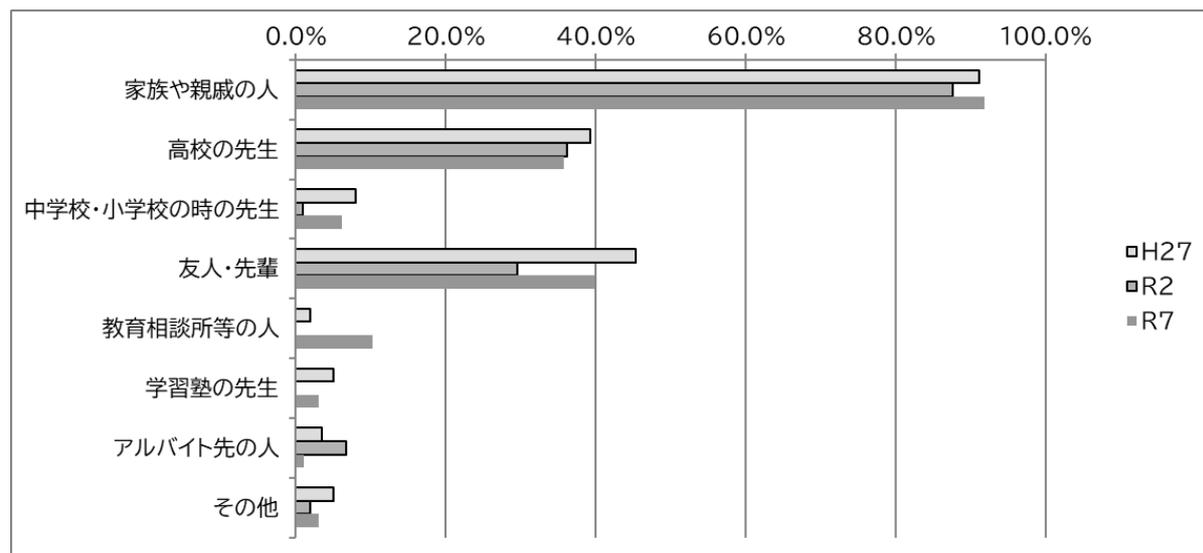
〈参考〉過去の調査データ

		した	しなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	145	21	0	166
	割合(%)	87.3%	12.7%	0.0%	100%
H17	人数(人)	93	12	0	105
	割合(%)	88.6%	11.4%	0.0%	100%
H22	人数(人)	258	89	4	351
	割合(%)	73.5%	25.4%	1.1%	100%
H27	人数(人)	201	56	9	266
	割合(%)	75.6%	21.1%	3.4%	100%
R2	人数(人)	105	35		140
	割合(%)	75.0%	25.0%		100%

(26) (25で「した」と回答した人へ) 誰と相談したか【複数回答可】

		家族や親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
H27	人数(人)	183	79	16	91	4	10	7	10
	割合(%)	91.0%	39.3%	8.0%	45.3%	2.0%	5.0%	3.5%	5.0%
R2	人数(人)	92	38	1	31	0	0	7	2
	割合(%)	87.6%	36.2%	1.0%	29.5%	0.0%	0.0%	6.7%	1.9%
R7	人数(人)	90	35	6	39	10	3	1	3
	割合(%)	91.8%	35.7%	6.1%	39.8%	10.2%	3.1%	1.0%	3.1%

*回答者に占める割合を示す



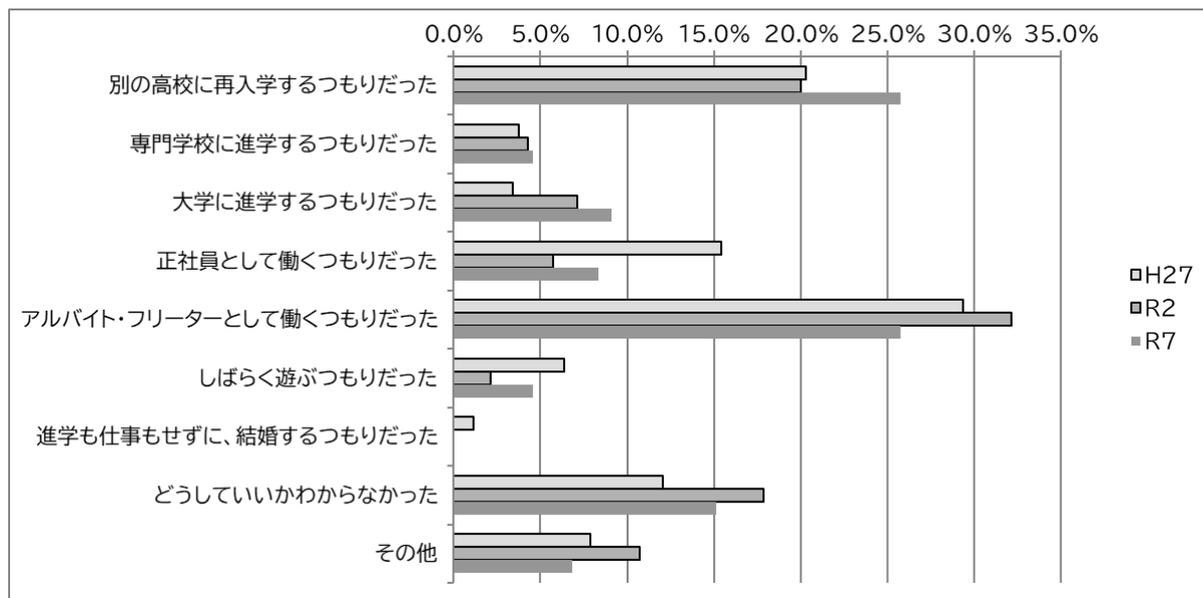
- ・「家族や親戚の人」と回答した割合は91.8%と、大半が家族や親戚の人に相談している。
- ・「その他」の回答では、「教育委員会」「学校のスクールカウンセラー」等の回答があった。

〈参考〉過去の調査データ

		両親など家族の人	高校の先生	中学校の時の先生	小学校の時の先生	友人・先輩	親戚の人	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
H12	人数(人)	119	67	6	0	69	4	2	4	9	20
	割合(%)	82.1%	46.2%	4.1%	0.0%	47.6%	2.8%	1.4%	2.8%	6.2%	13.8%
H17	人数(人)	69	33	4	0	32	1	0	1	4	3
	割合(%)	74.2%	35.5%	4.3%	0.0%	34.4%	1.1%	0.0%	1.1%	4.3%	3.2%
H22	人数(人)	233	92	13		103		4	4	12	6
	割合(%)	90.3%	35.7%	5.0%		39.9%		1.6%	1.6%	4.7%	2.3%
H27	人数(人)	183	79	16		91		4	10	7	10
	割合(%)	91.0%	39.3%	8.0%		45.3%		2.0%	5.0%	3.5%	5.0%
R2	人数(人)	92	38	1		31		0	0	7	2
	割合(%)	87.6%	36.2%	1.0%		29.5%		0.0%	0.0%	6.7%	1.9%

(27) 高校退学時点で、その後のことについてどのように考えていたか

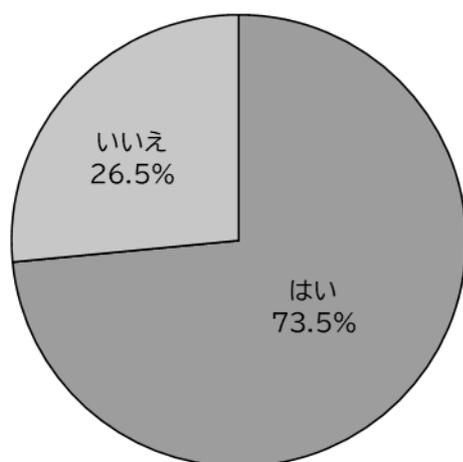
		別の高校に再入学するつもりだった	専門学校に進学するつもりだった	大学に進学するつもりだった	正社員として働くつもりだった	アルバイト・フリーターとして働くつもりだった	しばらく遊ぶつもりだった	進学も仕事もせず、結婚するつもりだった	どうしていいかわからなかった	その他	不明無回答	合計
H27	人数(人)	54	10	9	41	78	17	3	32	21	1	266
	割合(%)	20.3%	3.8%	3.4%	15.4%	29.3%	6.4%	1.1%	12.0%	7.9%	0.4%	100%
R2	人数(人)	28	6	10	8	45	3	0	25	15		140
	割合(%)	20.0%	4.3%	7.1%	5.7%	32.1%	2.1%	0.0%	17.9%	10.7%		100%
R7	人数(人)	34	6	12	11	34	6	0	20	9		132
	割合(%)	25.8%	4.5%	9.1%	8.3%	25.8%	4.5%	0.0%	15.2%	6.8%		100%



- ・「別の高校に再入学するつもりだった」「アルバイト・フリーターとして働くつもりだった」と回答した割合は25.8%と最も高く、「別の高校に再入学するつもりだった」割合は前回調査と比べ増加傾向にある。
- ・「その他」の回答では、「企業するつもりだった」「したいことを探す」等があった。

(28) 高校退学前は、高校卒業の資格は必要だと考えたか

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
H27	人数(人)	187	73	6	266
	割合(%)	70.3%	27.4%	2.3%	100%
R2	人数(人)	119	21		140
	割合(%)	85.0%	15.0%		100%
R7	人数(人)	97	35		132
	割合(%)	73.5%	26.5%		100%

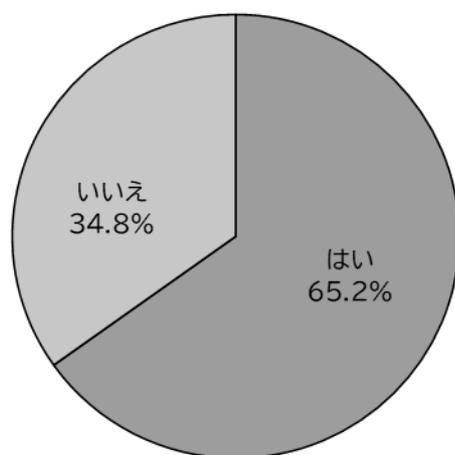


- ・「はい」と回答した割合は73.5%であり、多くの割合を占める。
- ・中途退学前、高校卒業の資格の必要性を感じている。

■ 高校を退学してから

(29) 高校退学後は、高校卒業の資格は必要だと考えたか

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
H27	人数(人)	172	85	9	266
	割合(%)	64.7%	32.0%	3.4%	100%
R2	人数(人)	109	31		140
	割合(%)	77.9%	22.1%		100%
R7	人数(人)	86	46		132
	割合(%)	65.2%	34.8%		100%

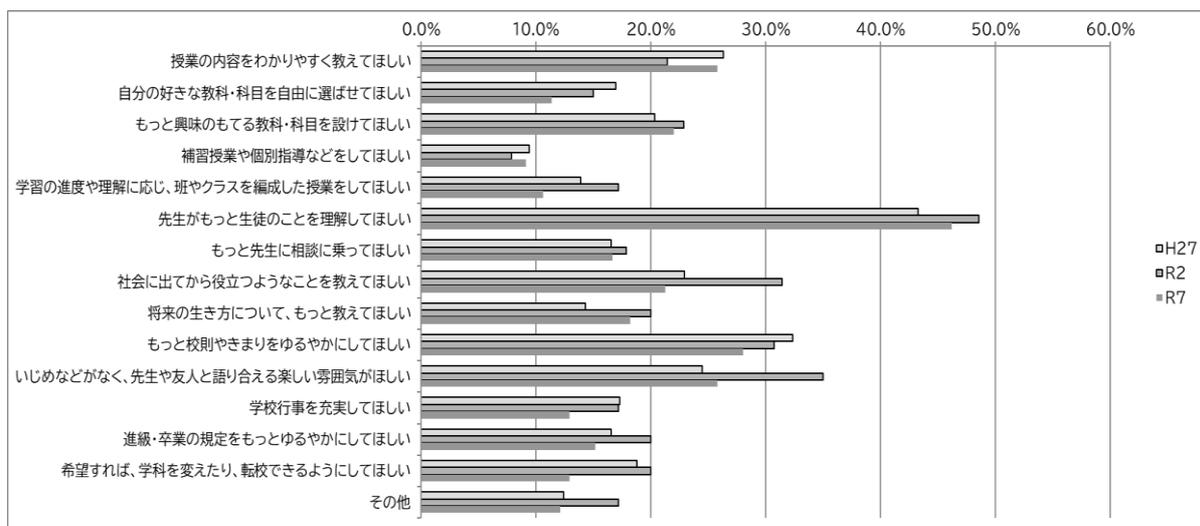


- ・「はい」と回答した割合は65.2%であり、多くの割合を占めるが、中途退学前よりは減少傾向にある。

(30) 高校生活を振り返って、高校に望むこと【複数回答可】

		授業の内容をわかりやすく教えてほしい	自分の好きな教科・科目を自由選べしてほしい	もっと興味のもてる教科・科目を設けてほしい	補習授業や個別指導などをしてほしい	学習の進度や理解に応じ、班やクラスを編成した授業をしてほしい	先生がもっと生徒のことを理解してほしい	もっと先生に相談に乗ってほしい	社会に出てから役立つようなことを教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい	いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気してほしい	学校行事を充実してほしい	進級・卒業の規定をもっとゆるやかにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい	その他
H27	人数(人)	70	45	54	25	37	115	44	61	38	86	65	46	44	50	33
	割合(%)	26.3%	16.9%	20.3%	9.4%	13.9%	43.2%	16.5%	22.9%	14.3%	32.3%	24.4%	17.3%	16.5%	18.8%	12.4%
R2	人数(人)	30	21	32	11	24	68	25	44	28	43	49	24	28	28	24
	割合(%)	21.4%	15.0%	22.9%	7.9%	17.1%	48.6%	17.9%	31.4%	20.0%	30.7%	35.0%	17.1%	20.0%	20.0%	17.1%
R7	人数(人)	34	15	29	12	14	61	22	28	24	37	34	17	20	17	16
	割合(%)	25.8%	11.4%	22.0%	9.1%	10.6%	46.2%	16.7%	21.2%	18.2%	28.0%	25.8%	12.9%	15.2%	12.9%	12.1%

*回答者に占める割合を示す



- ・「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」と回答した割合は46.2%と最も高く、教員の理解を求める意見が多い。
- ・その他の回答では、「自由に生活できる居場所がほしい」等があった。

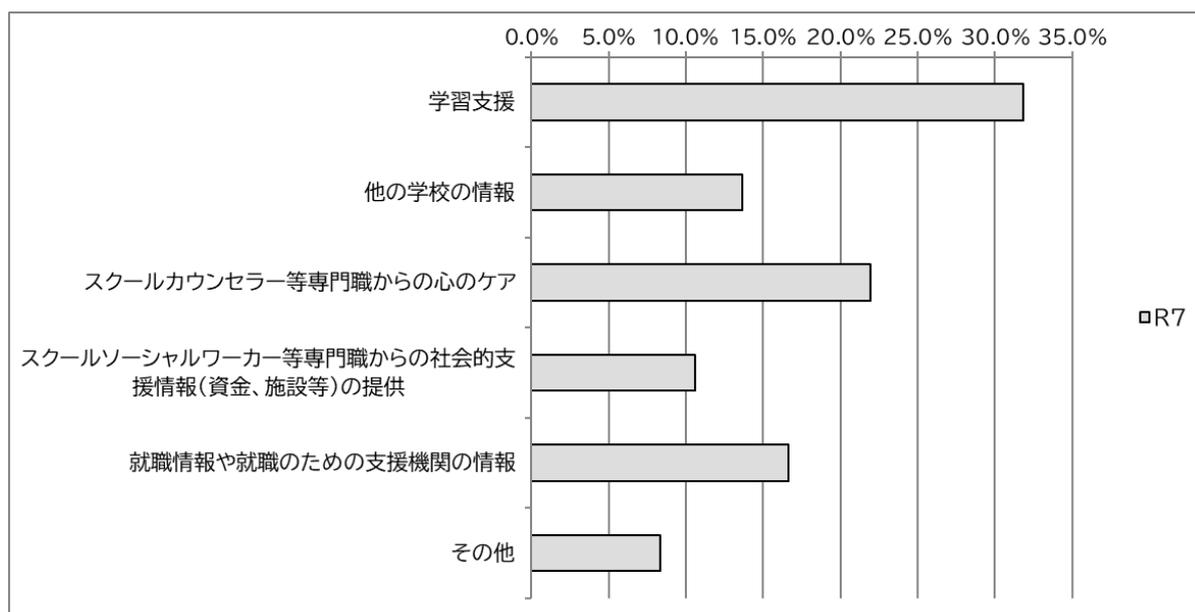
〈参考〉過去の調査データ

		授業の内容をわかりやすく教えてほしい	自分の好きな教科・科目を自由選べしてほしい	もっと興味のもてる教科・科目を設けてほしい	コンピュータなどを活用した授業をしてほしい	自分で課題を見つけ学習するよう授業をしてほしい	補習授業や個別指導などをしてほしい	学習の進度や理解に応じ、班やクラスを編成した授業をしてほしい	一つの高校に在学しながら、他の高校の授業を受けられるようにしてほしい	先生がもっと生徒のことを理解してほしい	もっと先生に相談に乗ってほしい	社会に出てから役立つようなことを教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい	いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気してほしい	学校行事を充実してほしい	進級・卒業の規定をもっとゆるやかにしてほしい	三年以上で一定の単位を取れば卒業できるようにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい	希望すれば、再び高校で学べるようにしてほしい	その他	特になし
H12	人数(人)	40	50	56	26	20	25	18	17	28	13	71	49	55	35	29	36	33	50	36	13	9
	割合(%)	24.1%	30.1%	33.7%	15.7%	12.0%	15.1%	10.8%	10.2%	16.9%	7.8%	42.8%	29.5%	33.1%	21.1%	17.5%	21.7%	19.9%	30.1%	21.7%	7.8%	5.4%
H17	人数(人)	31	31	27	17	13	25	16	8	44	15	45	23	48	34	28	23	22	21	14	4	2
	割合(%)	29.5%	29.5%	25.7%	16.2%	12.4%	23.8%	15.2%	7.6%	41.9%	14.3%	42.9%	21.9%	45.7%	32.4%	26.7%	21.9%	21.0%	20.0%	13.3%	3.8%	1.9%
H22	人数(人)	83	70	70			38	49		132	38	89	52	108	75	66	80		65			
	割合(%)	23.6%	19.9%	19.9%			10.8%	14.0%		37.6%	10.8%	25.4%	14.8%	30.8%	21.4%	18.8%	22.8%		18.5%			
H27	人数(人)	70	45	54			25	37		115	44	61	38	86	65	46	44		50		33	
	割合(%)	26.3%	16.9%	20.3%			9.4%	13.9%		43.2%	16.5%	22.9%	14.3%	32.3%	24.4%	17.3%	16.5%		18.8%		12.4%	
R2	人数(人)	30	21	32			11	24		68	25	44	28	43	49	24	28		28		24	
	割合(%)	21.4%	15.0%	22.9%			7.9%	17.1%		48.6%	17.9%	31.4%	20.0%	30.7%	35.0%	17.1%	20.0%		20.0%		17.1%	

(31) 中途退学を考えたときに、学校に支援してほしいこと【複数回答可】

		学習支援	他の学校の情報	スクールカウンセラー等専門職からの心のケア	スクールソーシャルワーカー等専門職からの社会的支援情報(資金、施設等)の提供	就職情報や就職のための支援機関の情報	その他
R7	人数(人)	42	18	29	14	22	11
	割合(%)	31.8%	13.6%	22.0%	10.6%	16.7%	8.3%

*回答者に占める割合を示す



- ・「学習支援」と回答した割合は31.8%と最も高く、進級・転学を視野にいれた支援が求められる。
- ・「スクールカウンセラー等専門職からの心のケア」と回答した割合は22.0%で2番目に高く、心のケアも求められる。

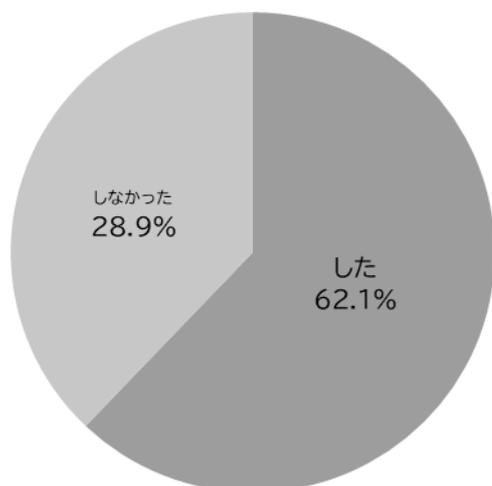
※R2 年度調査からの質問

〈参考〉過去の調査データ

		学習支援	他の学校の情報	スクールカウンセラー等専門職からの心のケア	就職情報や就職のための支援機関の情報	その他
R2	人数(人)	20	26	29	37	59
	割合(%)	14.3%	18.6%	20.7%	26.4%	42.1%

(32) 高校退学後、自分の進路について誰かに相談したか

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	82	50		132
	割合(%)	62.1%	37.9%		100%



- ・「した」と回答した割合は62.1%であり6割を超える。
- ・「しなかった」と回答した割合は37.9%である。

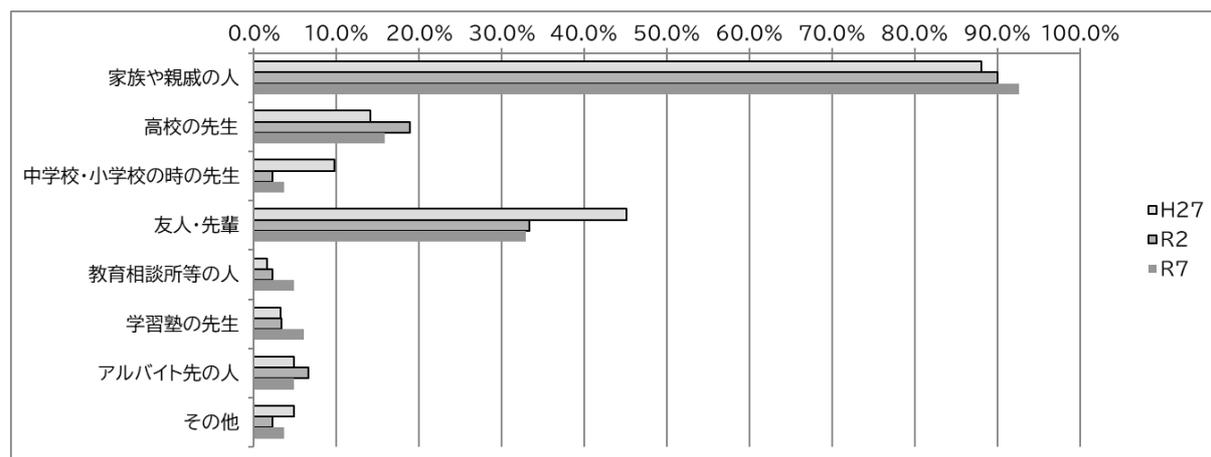
〈参考〉過去の調査データ

		した	しなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	120	40	6	166
	割合(%)	72.3%	24.1%	3.6%	100%
H17	人数(人)	73	27	5	105
	割合(%)	69.5%	25.7%	4.8%	100%
H22	人数(人)	230	116	5	351
	割合(%)	65.5%	33.0%	1.4%	100%
H27	人数(人)	184	77	5	266
	割合(%)	69.2%	28.9%	1.9%	100%
R2	人数(人)	90	50		140
	割合(%)	64.3%	35.7%		100%

(33) (32で「した」と回答した人へ) 誰と相談したか【複数回答可】

		家族や親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
H27	人数(人)	162	26	18	83	3	6	9	9
	割合(%)	88.0%	14.1%	9.8%	45.1%	1.6%	3.3%	4.9%	4.9%
R2	人数(人)	81	17	2	30	2	3	6	2
	割合(%)	90.0%	18.9%	2.2%	33.3%	2.2%	3.3%	6.7%	2.2%
R7	人数(人)	76	13	3	27	4	5	4	3
	割合(%)	92.7%	15.9%	3.7%	32.9%	4.9%	6.1%	4.9%	3.7%

*回答者に占める割合を示す



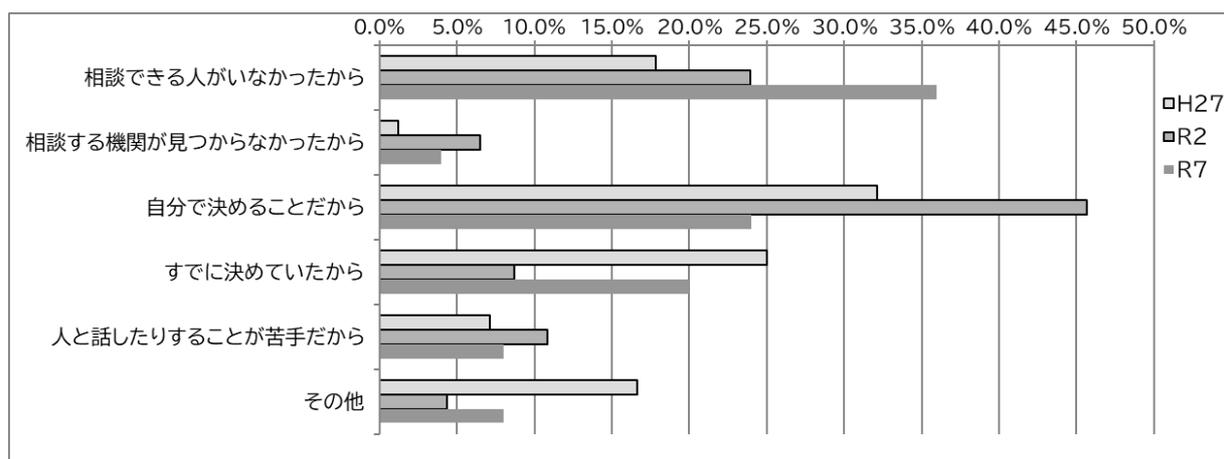
- ・「家族や親戚の人」と回答した割合は92.7%であり、家族や親戚の人にはよく相談している。
- ・「その他」の回答では、「入所施設の職員」「診療内科の先生」があった。

〈参考〉過去の調査データ

	両親など家族の人	家族・親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	ハローワークなど	その他
H12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	84.2%	52.5%	23.3%	3.3%	6.7%	1.7%	0.8%	2.5%	5.8%	
H17	58	1	14	2	21	0	1	1	0	
	79.5%	1.4%	19.2%	2.7%	28.8%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	
H22	207	35	18	83	3	9	16	8		
	90.0%	15.2%	7.8%	36.1%	1.3%	3.9%	7.0%	3.5%		
H27	162	26	18	83	3	6	9	9		
	88.0%	14.1%	9.8%	45.1%	1.6%	3.3%	4.9%	4.9%		
R2	81	17	2	30	2	3	6	2		
	90.0%	18.9%	2.2%	33.3%	2.2%	3.3%	6.7%	2.2%		

(34) (32で「しなかった」と回答した人へ) 相談しなかった理由

		相談できる人がいなかったから	相談する機関が見つからなかったから	自分で決めることだから	すでに決めていたから	人と話したりすることが苦手だから	その他
H27	人数(人)	15	1	27	21	6	14
	割合(%)	17.9%	1.2%	32.1%	25.0%	7.1%	16.7%
R2	人数(人)	11	3	21	4	5	2
	割合(%)	23.9%	6.5%	45.7%	8.7%	10.9%	4.3%
R7	人数(人)	18	2	12	10	4	4
	割合(%)	36.0%	4.0%	24.0%	20.0%	8.0%	8.0%

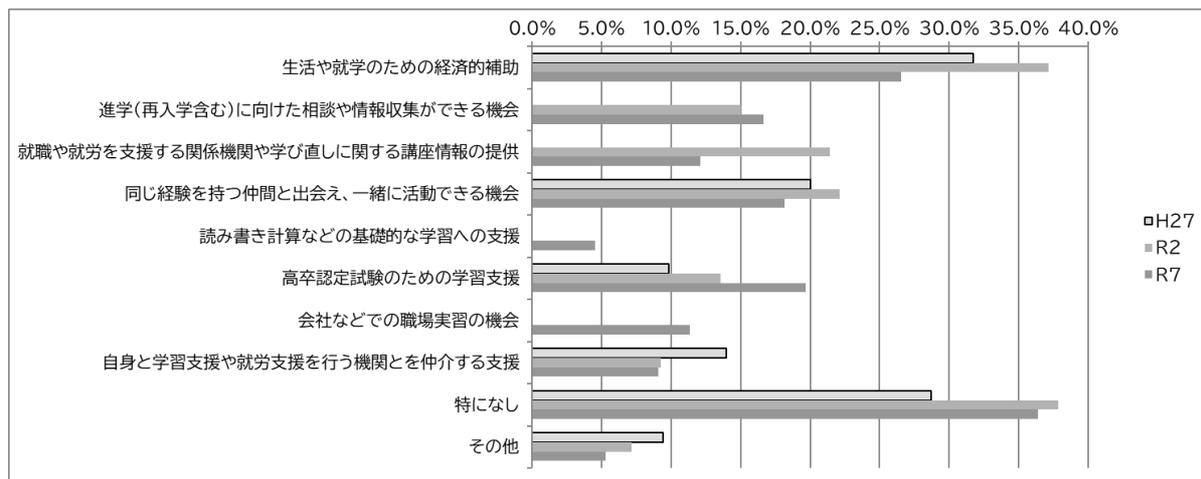


- ・「相談できる人がいない」と回答した割合は36.0%であり、相談そのものができない割合が高い。
- ・「自分で決めることだから」と回答した割合は24.0%である。
- ・「その他」の回答では、「なにも考えていなかったから」等があった。

(35) 現在の自分にとって必要なこと【複数回答可】

		生活や就学のための経済的補助	進学(再入学含む)に向けた相談や情報収集ができる機会	就職や就労を支援する関係機関や学び直しに関する講座情報の提供	同じ経験を持つ仲間と出会い、一緒に活動できる機会	読み書き計算などの基礎的な学習への支援	高卒認定試験のための学習支援	会社などでの職場実習の機会	自身と学習支援や就労支援を行う機関とを仲介する支援	特になし	その他
H27	人数(人)	84	-	-	53	-	26	-	37	76	25
	割合(%)	31.7%			20.0%		9.8%		14.0%	28.7%	9.4%
R2	人数(人)	52	21	30	31	-	19	-	13	53	10
	割合(%)	37.1%	15.0%	21.4%	22.1%		13.6%		9.3%	37.9%	7.1%
R7	人数(人)	35	22	16	24	6	26	15	12	48	7
	割合(%)	26.5%	16.7%	12.1%	18.2%	4.5%	19.7%	11.4%	9.1%	36.4%	5.3%

*回答者に占める割合を示す



- ・「特になし」と回答した割合は36.4%と最も高いが、「生活や就学のための経済的補助」と回答した割合は26.5%と多く、生活に対する不安がある。
- ・「その他」の回答では、「これからの事に相談にのってくれる人」「心のケアをしてくれる場所」等があった。

第4章 調査結果から

■ 分析＜中途退学後の現在の状況と各質問項目との関係について＞

・設問(6) 現在の状況

		退学した高校に在学(再入学)	別の全日制高校に在学	別の定時制高校に在学	別の通信制高校に在学	専修・各種学校に在学	大学・専門学校などに進学	高卒認定試験受験(受験準備含む)	就職(自営含む)	アルバイト・フリーター	就職(無職)	その他
R7	人数(人)	1	2	4	17	2	3	19	20	47	20	9
設問(7)「希望どおりの進路変更ができた」と回答した人数		1	2	3	14	2	3	11	15	28	9	4
当該項目回答者に占める割合(%)		100.0%	100.0%	75.0%	82.4%	100.0%	100.0%	57.9%	75.0%	59.6%	45.0%	44.4%
設問(8)「退学してよかった」「どちらかといえば、退学してよかった」と回答した人数		1	2	2	13	1	3	13	13	29	14	6
当該項目回答者に占める割合(%)		100.0%	100.0%	50.0%	76.5%	50.0%	100.0%	68.4%	65.0%	61.7%	70.0%	66.7%
設問(9)「将来学校で学びたい」と回答した人数		1	0	1	1	0	0	12	1	9	5	4
当該項目回答者に占める割合(%)		100.0%	0.0%	25.0%	5.9%	0.0%	0.0%	63.2%	5.0%	19.1%	25.0%	44.4%
設問(11)「高校に進学したかった」と回答した人数		1	2	4	14	1	3	12	18	27	11	6
当該項目回答者に占める割合(%)		100.0%	100.0%	100.0%	82.4%	50.0%	100.0%	63.2%	90.0%	57.4%	55.0%	66.7%
設問(29)「高校を退学後、高卒資格が必要」と回答した人数		1	2	4	16	1	2	14	7	26	7	6
当該項目回答者に占める割合(%)		100.0%	100.0%	100.0%	94.1%	50.0%	66.7%	73.7%	35.0%	55.3%	35.0%	66.7%

- ・現在「学校に在学・進学」である者は、設問(7)で「希望通りの進路変更ができた」と回答した割合が高い。
- ・現在「学校に在学・進学、高卒認定試験受験(準備)」である者は、設問(29)「高校を退学後、高卒資格が必要」と回答した割合が高い。
- ・現在「就職(自営含む・無職)」「アルバイト・フリーター」である者は、設問(8)で「退学してよかった・どちらかといえば、退学してよかった」、設問(9)「将来学校で学びたい」、設問(29)「高校を退学後、高卒資格が必要」と回答した割合が低い傾向にある。
- ・現在「アルバイト・フリーター」「就職(無職)」である者は、設問(11)「高校に進学したかった」と回答した割合が低い。もともと学校で学ぶことを望んでいない傾向がある。
- ・設問(27)高校退学時点で、その後のことについてどのように考えていたか

		別の高校に 再入学する つもりだっ た	専門学校に 進学するつ もりだっ た	大学に進学 するつもり だった	正社員とし て働くつも りだった	アルバイト・フリー ターとして働くつ もりだった	しばらく遊 ぶつもり だった	進学も仕事も せずに、結婚 するつもり だった	どうしてい いかわから なかった	その他
R7	人数(人)	34	6	12	11	34	6	0	20	9
	割合(%)	25.8%	4.5%	9.1%	8.3%	25.8%	4.5%	0.0%	15.2%	6.8%
設問(29)「高校を退学 後、高卒資格が必要」と 回答した人数		30	3	10	3	19	3	0	12	0
当該項目回答者に 占める割合(%)		88.2%	50.0%	83.3%	27.3%	55.9%	50.0%	0.0%	60.0%	0.0%

・高校を退学した時点では、「アルバイト・フリーターとして働くつもりだった」「どうしていいかわからなかった」と回答した割合が高いが、その内、設問(29)で、「高卒資格が必要」と回答した割合は5割を超える。

現時点で、学校等に在学している・学び直ししている現況だと、「中途退学後は希望どおり」「退学してよかった」「高卒資格が必要」の肯定度が高い。一方で、就労(自営含む・無職)・アルバイト、フリーターなどの現況では、現状での納得感や資格の必要感が相対的に低いため、再学習ルートと支援情報の確実な到達が必要になる。

以上のことから、退学をするに至っては、生徒、保護者と退学後の進路について熟慮を重ねることが大切である。退学を決定する前に、必要に応じて、スクールカウンセラーのカウンセリングを受けたり、スクールソーシャルワーカーを活用して福祉等の外部機関と連携したり、様々な支援を活用することも必要である。また、転学という選択肢や退学したとしても高等学校卒業程度認定試験についてもよく話し合っておくことが必要である。

■ 分析<相談状況について>

【高校に入学するにあたって】

設問(12)「中学校の進路指導に、どのようなことを望むか」で、「高校の生活や勉強について詳しく教えてほしい」「それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい」と回答した割合が高く、設問(16)「高校に入学したときの印象や状況はどのようなものだったか」で、「勉強が難しい」「校則・先生が厳しい」と回答した割合が高いことから、高校入学後に実際に起きている困りごと(校則・学習難度・教員との距離)が、中学校段階でもっと具体的に知りたい情報として求められている。この情報ギャップを埋めると、不一致による早期不適応の軽減が期待でき、入学後との不適合を防ぎ、中途退学の防止につながると考える。

設問(30)「高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望むか」で、「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」「いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気がほしい」と回答した割合が、前回同様高いことから、高校は、生徒一人一人に向き合い、個々の状況に応じた進路指導や個別相談を実施することが求められる。

設問(13)「高校に進学した理由は」で、「保護者など家族の者が勧めたから」、設問(14)「入学する高校を決めるときに役立ったこと」で、「中学校の先生との話し合い」と回答した割合が高い。この結果から、進路について子供の判断に任せきりになるのではなく、子供と保護者・学校が一緒になって考えている様子が伺える。設問(14)で「高校見学・体験入学など」と回答した割合は、前回調査と同様に高く、保護者が同伴して生徒と一緒に参加している傾向が大きくなっていると考えられる。高校を生徒だけではなく、保護者にも十分理解してから入学してもらうことが重要であり、何のために進学するのか(就職・将来・進学)という目的と、どう選ぶのか(学力・先生との対話)という観点を生徒と保護者が共有するからも高校見学・体験入学の内容を充実させていく必要がある。

【高校を退学するにあたって】

設問(26)「高校を退学することについて誰と相談したか」で、「家族や親戚の人」と回答した割合が高い。この結果から、高校に入学するときには生徒と保護者と一緒に高校見学や体験入学に参加した状況と同様に、中途退学をする前に生徒と保護者が一緒になって高校生活や将来のことについて相談できる機会の設定が中途退学の防止につながると考える。そこで、本県では「高校生活に関する相談会」を年2回実施し、生徒と保護者の相談に応じている。

【高校を退学した後】

設問(34)「高校を退学したあと、自分の進路についてなぜ誰にも相談しなかったか」で、「相談できる人がいなかったから」「相談する機関がみつからなかったから」という回答があった。先に述べた「高校生活に関する相談会」は、中途退学した者も対象としているが、そのような情報が中途退学をした者に十分に伝わっていない可能性が高い。さらに多くの方に参加してもらい、相談に応じていけるよう広報活動を研究し、さらに周知していく必要があると考える。

■ 分析<高校生活について>

設問(23)「高校を退学することに決めた一番の理由」で、「高校生活があわなかったから」と回答した割合が一番多い。設問(16)「高校に入学したときの印象や状況はどのようなものか」で、「友達と楽しく過ごせる」と回答した割合が高いことから、友達との親交を始め、集団生活の中での人間関係が高校生活の満足感を高めているとは考えられるが、一方で、設問(16)で、「友達ができない」と回答した割合がある程度高いことから、その人間関係をうまく構築できず、高校生活が辛いものとなってしまい、中途退学に至っている状況があると考えられる。この結果から、コミュニケーション能力を高め、人間関係を構築するスキルを養っていく必要がある。

設問(17)「高校生活の中で楽しかったこと」で、「友達と話したり一緒に遊んだりしたこと」「文化祭に参加したこと」「部活動に参加したこと」「修学旅行・遠足などに参加したこと」「体育祭に参加したこと」、設問(30)「高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか」で、「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」「いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気がほしい」と回答した割合が高い。この結果から、学校行事を充実させるなどして、生徒同士、生徒と教員のコミュニケーションの機会や生徒の達成感、自己有用感を醸成させる機会をさらに増やすことが求められている。

設問(17)で、「先生と一緒に話したりしたこと」、設問(30)で「もっと先生に相談に乗ってほしい」と回答した割合が高く、設問(19)「在学していた高校での心を打ち明けて相談できる人【複数回答可】」で、「担任の先生」と回答した割合が高いことから、教員一人一人の相談力をさらに向上させる必要があると考えられる。本県では、年次研修や専門研修にて教育相談の資質・能力を向上させる研修を各種実施している。

設問(31)「中途退学を考えたときに、学校に支援してほしいこと【複数回答可】」で、「スクールカウンセラー等専門職からの心のケア」と回答した割合が高く、スクールカウンセラー等専門職の活用をさらに推進していく必要がある。

教員一人一人の教育相談力を向上させるとともに、スクールカウンセラー等専門職の知見を支援に生かしていくなど、学校全体での教育相談力の向上を組織的に図っていくことが必要であると考えられる。

■ 分析<授業・学習支援について>

設問(18)「高校の授業の内容について」で、「大変分かりやすかった」「どちらかといえば分かりやすかった」「ちょうどよかった」と回答した割合の合計が6割程度と高い傾向にある。これは、入学当初の中学校と高校での勉強の違いによるつまずきが少ない事がいえる。一方、設問(16)「高校に入学したときの印象や状況について」で、「勉強が難しい」と回答した割合が前回の調査より高く、「勉強が楽しい」という回答の割合が少ないことから、高校での勉強につまずきを感じることも一定数あることがうかがえる。また、設問(17)「高校生活の中で楽しかったことは何ですか」で、「好きな教科・科目を勉強したこと」と回答した割合が過去の調査より減少していることもあり、入学した後も勉強に対する興味・関心が損なわれないよう、改訂された学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の授業が小学校、中学校、高校と一体となって実践され、生徒の学習意欲が高まるような取組が必要である。

実際、設問(23)「高校を退学することに決めた一番の理由」で、「授業が難しかったから」、設問(30)「高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望むか」で、「授業の内容をわかりやすく教えてほしい」と回答した割合は、前回調査と比べ高いこともあり、授業についていけず、学力不振によって中途退学に至るといふことを防ぐための工夫も必要になる。

■ 分析<中学校時代不登校傾向の者と各質問項目との関係について>

・設問(10) 中学校時代の欠席有無。

		休まなかった	少しだけ休んだ	3分の1程度休んだ	2分の1程度休んだ	ほとんど休んだ	不明無回答	合計
R7	人数(人)	29	53	23	9	18		132
	割合(%)	22.0%	40.2%	17.4%	6.8%	13.6%		100%

← 37.9% →

・設問(2) 高校を退学したときの学年

		1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	不明無回答	合計
R7	人数(人)	79	34	15	1	3		132
	割合(%)	59.8%	25.8%	11.4%	0.8%	2.3%		100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	32	11	5	1	1		50
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	64.0%	22.0%	10.0%	2.0%	2.0%		100%

・設問(6) 現在の状況

		退学した高校に在学(再入学)	別の全日制高校に在学	別の定時制高校に在学	別の通信制高校に在学	専修・各種学校に在学	大学・専門学校などに進学	高卒認定試験受験(受験準備含む)	就職(自営含む)	アルバイト・フリーター	就職(無職)	その他()
R7	人数(人)	1	2	4	17	2	3	19	20	47	20	9
	割合(%)	0.7%	1.4%	2.8%	11.8%	1.4%	2.1%	13.2%	13.9%	32.6%	13.9%	6.3%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	0	0	0	8	1	0	6	3	20	8	4
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	16.0%	2.0%	0.0%	12.0%	6.0%	40.0%	16.0%	8.0%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち「別の通信制高校に在学」と回答した割合は16.0%であり、他の学校に進学している割合比較すると高い。
- ・ 「アルバイト・フリーター」と回答した割合は、40.0%で高い割合である。

・設問(7) 現在の状況は、高校を退学したときの希望通りか

		希望どおり	希望どおりになっていない	不明無回答	合計
R7	人数(人)	92	40		132
	割合(%)	69.7%	30.3%		100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	32	18		50
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	64.0%	36.0%		100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「希望どおりになっていない」と回答した割合は36.0%である。中途退学者全の割合と比較し高い。

・設問(8) 高校を退学したことについて現在どのように考えているか

		退学してよかった	どちらかといえば、退学してよかった	どちらかといえば、退学しなればよかった	退学しなればよかった	不明無回答	合計
R7	人数(人)	53	44	28	7		132
	割合(%)	40.2%	33.3%	21.2%	5.3%		100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	22	17	9	2		50
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	44.0%	34.0%	18.0%	4.0%		100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち「どちらかといえば、退学しなればよかった」「退学しなればよかった」の割合は中途退学者全体の割合と比較し低い。

・設問(15) 入学した高校は、志望した高校だったか

		志望どおり	どちらかとい うと志望 どおり	あまり志望 どおりでは なかった	全く志望ど おりではな かった	不明 無回答	合計
R7	人数(人)	53	36	24	19		132
	割合(%)	40.2%	27.3%	18.2%	14.4%		100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	18	14	7	11		50
	不登校傾向の 者総数に対す る割合(%)	36.0%	28.0%	14.0%	22.0%		100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者が「志望どおり」「志望どおりでない」と回答する割合は、中途退学者全体の割合と同等程度である。

・設問(16) 高校に入学したときの印象はどのようなものか【複数回答可】

		自分の能力・ 適性や趣味 にあっている	勉強が難し い	勉強が楽し い	校則が厳し い	自分の将 来のため になる	高校の先 生は厳しい	友達と楽し く過ごせる	友達ができ ない	特に何も思 わなかった	その他
R7	人数(人)	22	35	3	41	10	27	36	18	26	11
	割合(%)	16.7%	26.5%	2.3%	31.1%	7.6%	20.5%	27.3%	13.6%	19.7%	8.3%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	8	7	0	8	0	1	8	3	11	4
	不登校傾向の 者総数に対す る割合(%)	16.0%	14.0%	0.0%	16.0%	0.0%	2.0%	16.0%	6.0%	22.0%	8.0%

*回答者に占める割合を示す

- ・ 中学時代不登校の傾向の者のうち、「勉強が難しい」と回答する割合は14.0%と、中途退学者全体の割合と比較し低い。

・設問(18) 高校の授業の内容について

		大変分 かりやす かった	どちらか といえ ば、分 かりやす かった	ち ょうど よ か つ た	や や分 かり に く か つ た	大 変分 かり に く か つ た	不明 無 回 答	合計
R7	人数(人)	10	30	42	25	25		132
	割合(%)	7.6%	22.7%	31.8%	18.9%	18.9%		100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	5	13	14	8	10		50
	不登校傾向の 者総数に対す る割合(%)	10.0%	26.0%	28.0%	16.0%	20.0%		100%

- ・ 中学時代不登校の傾向の者は「大変分かりやすかった」「どちらかといえば、分かりやすかった」と回答した割合が中途退学者全体の割合と比較し高い。

- ・設問(19) 在学していた高校での心を打ち明けて相談できる人【複数回答可】

		担任の先生	学年主任の先生	保健室の先生	相談員・スクールカウンセラー等	友人	その他
R7	人数(人)	45	12	13	12	61	42
	割合(%)	34.1%	9.1%	9.8%	9.1%	46.2%	31.8%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	9	0	7	6	10	18
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	18.0%	0.0%	14.0%	12.0%	20.0%	36.0%

- ・ 中学時代不登校の傾向の者は「担任の先生」と回答した割合は18.0%と、中途退学者全体と比較し低く、「保健室の先生」「相談員・スクールカウンセラー等」と回答した割合は26.0%と、中途退学者全体と比較し高い。

- ・ 設問(21) 高校の校則やきまりについて

		大変厳しかった	やや厳しかった	あまり厳しくなかった	全く厳しくなかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	38	38	41	15		132
	割合(%)	28.8%	28.8%	31.1%	11.4%		100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	13	13	18	6		50
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	26.0%	26.0%	36.0%	12.0%		100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者が「難しかった」「難しくなかった」と回答する割合は、中途退学者全体の割合と同等程度である。

- ・ 設問(22) 在学中に高校を退学することについてどのように考えていたか。

		やめたかった	どちらかといえば、やめたかった	どちらかといえば、やめたくなかった	やめたくなかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	70	28	21	13		132
	割合(%)	53.0%	21.2%	15.9%	9.8%		100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	30	8	8	4		50
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	60.0%	16.0%	16.0%	8.0%		100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者が「やめたかった」「やめたくなかった」と回答する割合は、中途退学者全体の割合と同等程度である。

- ・設問(25) 高校を退学することについて誰かに相談したか。

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	98	34		132
	割合(%)	74.2%	25.8%		100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	38	12		50
	不登校傾向の 者総数に対する 割合(%)	76.0%	24.0%		100%

- ・ 中学時代不登校の傾向の者が「した」「しなかった」と回答する割合は、中途退学者全体の割合と同等程度である。

- ・設問(32) 高校退学後、自分の進路について誰かに相談したか。

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R7	人数(人)	82	50		132
	割合(%)	62.1%	37.9%		100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	33	17		50
	不登校傾向の者 総数に対する割 合(%)	66.0%	34.0%		59%

- ・ 中学時代不登校の傾向の者が「した」「しなかった」と回答する割合は、中途退学者全体の割合と同等程度である。

- ・設問(35) 現在の自分にとって必要なこと【複数回答可】

		生活や就学 のための 経済的補 助	進学(再入学 含む)に向け た相談や情 報収集がで きる機会	就職や就労 を支援する 関係機関や 学び直しに 関する講座 情報の提供	同じ経験を 持つ仲間と 出会い、一 緒に活動で きる機会	読み書き 計算など の基礎的 な学習へ の支援	高卒認定 試験のた めの学習 支援	会社など での職場 実習の機 会	自身と学習 支援や就労 支援を行う 機関とを 仲介する支 援	特になし	その他
R7	人数(人)	35	22	16	24	6	26	15	12	47	8
	割合(%)	26.5%	16.7%	12.1%	18.2%	4.5%	19.7%	11.4%	9.1%	35.6%	6.1%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	12	4	2	4	0	6	2	1	14	19
	不登校傾向の者 総数に対する割 合(%)	24.0%	8.0%	4.0%	8.0%	0.0%	12.0%	4.0%	2.0%	28.0%	38.0%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「生活や就学のための経済的補助」と回答した割合は24.0%と「特になし」を除き、最も高い。

【不登校支援について】

中学時代に不登校傾向であった生徒が、中途退学者の4割近くを占めており、不登校は中途退学につながる大きな要因になっていると考えられる。本県では、中途退学防止と併せて不登校支援のために、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び教育相談員を配置し、学校組織としての教育相談体制の整備に努めている。

また、令和6年3月には、児童生徒の主体的な選択を十分に尊重する視点を持って支援に当たることが重要であることなどの不登校児童生徒への支援に関する基本的な考え方を示した「一人一人の社会的自立に向けた児童生徒支援ガイドブック」を作成し、さいたま市を除く県内すべての公立学校へ配付した。

令和7年度の「不登校の子供を支えるためのセミナー」では、パネルディスカッション及び講演会、個別相談会を実施し、多くの来場者に対し、不登校に対する基本的な考え方や不登校児童生徒に対する支援の情報などを発信した。

そのほか、「子供たちとその保護者のための不登校支援サイト」においては、公立高等学校入試選抜における「不登校の生徒などを対象とした特別な選抜」の説明動画を掲載するなど、サイトの充実を図った。

生徒の心の声を聞き漏らさず、相談に応じられる支援体制を整備するためにも、このような取り組みを一層進めていくことが必要であると考えている。

事務局より

今回の「第6回高等学校中途退学追跡調査」は令和2年度に実施した前回調査と比べ、新型コロナウイルス感染症の流行による休校や分散登校などによる大きな環境の変化がありました。そのため、学校生活が通常に戻りつつある現在でも、生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況や、新たに交友関係を築かなければならないなど、学校に登校する意欲が湧きにくい状況にあったととらえております。

しかしながら、本県の公立高等学校中途退学者数・中途退学率は、前回調査時の令和元年度では、中途退学者1,333人、中途退学率1.1%でしたが、今回調査の令和6年度では、中途退学者1,170人、中途退学率1.1%であり、同等程度に保つことが出来ました。これも、一人一人の生徒に寄り添った丁寧な対応を継続的にされてきた各学校の努力の成果によるものと、改めて感謝申し上げます。

さて、今回の調査では、「学校生活・学業不適応」が理由で中途退学してしまう割合が引き続き高く、学校生活や学業に対して前向きに考えられない状況や、人間関係の構築や維持に不安を抱える生徒の割合が上昇していることが分かりました。

県では、今回の調査結果をもとに、地域等と連携したキャリア教育などに取り組み、複雑化・多様化する生徒個々の課題や状況に応じた丁寧な支援が行えるよう、引き続き、教育相談体制の充実に取り組んでまいります。

最後に、今回の調査に御協力いただいた各県立高等学校と、アンケートに御回答いただきました皆さんや御家族の方に、御礼申し上げます。

令和8年3月

担当

埼玉県教育局市町村支援部生徒指導課

総務・不登校対策・中退防止



— 豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育 —